

令和5年第7回 琴浦町教育委員会定例会 日程

と き：令和5年6月26日（月）13:30～

ところ：まなびタウンとうはく 第1会議室

1 開 会

2 議事録署名委員の指名（高力委員、黒松委員）

3 教育長あいさつ

4 各課報告

5 議 事

議案第47号 琴浦町教育委員会感謝状贈呈要綱の一部改正について

議案第48号 以西地区公民館運営協議会委員の委嘱について

6 報告事項

報告第3号 専決処分（琴浦町会計年度任用職員の任用について）

報告第4号 専決処分（琴浦町学校運営協議会委員の任命について）

7 協議事項

令和4年度事業成果説明書兼評価書について

その他

小中学校一斉公開アンケート結果について

生徒指導報告について

9 閉 会

次回定例会：令和5年7月 日（ ） 13時30分～

6月定例議会一般質問答弁

世界はますます急激に変化しています。わが国、そして鳥取県、ここ琴浦町においても、少子高齢社会の進行や人口減少、環境・エネルギー問題など、持続可能な社会を築くうえで、解決困難な課題や問題と向き合う時代となっています。

そういう時代だからこそ、どんなにAIが発達しても、「人としっかり話し合う」「チームや組織で協力し、問題を解決する」「困難があってもあきらめずチャレンジする」、そのような意欲や心構え、そして行動力がより一層、必要とされると思います。

そのような時代の背景、「琴浦町教育大綱」を踏まえて、私の使命は「ふるさとを想い、人とのつながりを大切にしたい人づくり・町づくり」だと思っています。さまざまな学びを通して子どもたちのみならず大人も、自らをより高めていくため、よりよく人と繋がっていくための教育の推進、環境整備を行っていくことが、町民の皆さまのより豊かな生活につながり、よりよい琴浦町、魅力的な琴浦町をつくっていくことにつながっていくと思っています。

また、3月まで学校現場におりました。校長として「すべての子どもを最大限成長させる」ことを目標としてきました。そのために、学校は、大人になるための準備期間として、「より良い習慣」を身につける場だと考えています。基本的な生活習慣はもとより、よりよく学ぶ習慣、人を大切にすること、礼儀やマナーを学び実践していくことなど、より良い習慣を身につけていくことで、「すべての子どもを最大限成長させる」ことにつながっていきたいと思います。

しかし、学校が向き合う課題は複雑化・多様化しています。特別な支援を要する児童生徒の増加、不登校や不登校傾向にある児童生徒の増加、さらに、学習指導要領の着実な実施、GIGAスクール構想に伴うICT端末の活用、部活動の地域移行、働き方改革など急激な改革が進められています。このような状況の中で、その教師は大きな負担を強いられています。昔も今も、教師は子どもたちにとって最大の教育環境であり、学校教育の成否は、教師の人格と姿勢によるところが大きいと確信しています。したがって、教師は学校の命であり、宝であり、財産です。

まず、少人数学級の実施のみならず、学習支援員、教育相談員、ICT支援員、部活動支援員、部活動の外部指導者など、現場のニーズに引き続き対応するため、教師の支援を行うための必要な人材の配置の拡充が必要です。

次に、人権教育です。人権は、誰にとっても身近でとても大切なものです。日ごろの思いやりで守られるべきものです。人権教育は、「差別の現実から深く学ぶ」ことを原則として実践が積み上げられてきました。そして部落問題の解決を基本としながら、あらゆる人権問題の解決を目指す人間を育成する教育へと発展してきました。社会は変化しています。例えば、バルアフリーという考え方は多くの人に浸透していますが、私が中学生の時にはありませんでした。LGBTについての理解が進んだのもここ7、8年、最近では性暴力による人権侵害などがクローズアップされています。子どもから大人まで、人権が「守られる」よう学び続けていく人権教育の推進・啓発に努めていきます。

最後に、「ふるさと教育」です。琴浦町の各計画の教育方針の一つにあげられています。そこ

には「我が町を誇れる大人になってほしい」という多くの町民の願いが込められています。各学校ではそれぞれの歴史や文化、産業、自然、人物など、地域を題材とした調べ学習や体験活動を行っています。このような教育活動をパッケージとしてまとめて、ネーミング化し、各学校の実態に応じた創意工夫ある学習に育てていきたいと考えています。

さらに、今年度、地域の人々と学校が目標やビジョンを共有し、地域と学校が一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校」の実現のためにコミュニティ・スクールを、今年度すべての小中学校に導入したところです。「地域とともにある学校」での学びが、子どもたちが自らの生き方を考えることにつながり、地域貢献につながっていくとともに、地域で子どもの成長を支援、応援していくことで、「絆」が生まれ、地域活性化の基盤となることも期待されるところです。

「ふるさとを想い、人とのつながりを大切にしたい人づくり・町づくり」に向けて、琴浦町教育の推進に尽力して参りたいと思います。

令和5年6月教育委員会定例会報告

教育総務課

1. 就学援助支給認定について（別紙のとおり）

2. 琴浦町議会6月定例会関係

3. A L Tの配置について

氏名：ペリー・エミリー（女性）

出身：アメリカ・テネシー州

配属：東伯中学校

7月30日 来日

8月2日 来町予定

4. 主な学校関係行事

6/1	計画訪問（しらとりこども園）
6/20	計画訪問（やばせこども園）
6/23	計画訪問（赤碕小学校）
6/26	学校給食試食会
6/26	計画訪問（赤碕中学校）
6/27	計画訪問（ふなのえこども園）
6/28	計画訪問（浦安小学校）
6/29	第1回コミュニティ・スクール連絡協議会
6/30	校長会
7/5	計画訪問（聖郷小学校）
7/13～14	第14回中国地区市町村教育委員会連合会研修大会
7/20	中学校終業式
7/21	小学校終業式
7/21	鳥取県市町村教育委員会研究協議会定期総会ほか

就学援助の認定について

次のとおり、就学援助の認定について、琴浦町就学援助支給に関する要綱(令和5年教育委員会訓令第1号)第7条の規定により決定しました。

申請者一覧

番号	学校名	学年	新規 継続	住所	認定の 根拠	所得算定(円)		
						月收入(A)	月支出(B)	A/B
1	東伯中学校	2	新規	琴浦町槻下	コ	237,144	216,504	1.095
1	東伯中学校	2	新規	琴浦町槻下	コ	237,144	216,504	1.095

〈参考〉琴浦町就学援助支給に関する要綱

(対象者)

要保護者（生活保護法第6条第2項）	
準要保護（要保護者に準ずる程度に困窮していると認められる者）	
ア 生活保護法に基づく保護の停止又は廃止	イ 市町村民税の非課税
ウ 市町村民税の減免	エ 個人の事業税の減免
オ 固定資産税の減免	カ 国民年金の掛金の減免
キ 保険料の減免又は徴収の猶予	ク 児童扶養手当の支給
ケ 生活福祉資金貸付等による貸付	
コ その属する世帯の収入額が教育委員会が別に定める認定基準額に満たない者	
サ 当該年度において、会社の倒産、事業の閉鎖若しくは家庭事情の変動等により所得が著しく減った者で、支給の必要があると教育委員会が認めた者	

令和5年6月教育委員会定例会報告

社会教育課

1. ねんりんピックはばたけ鳥取 2024 琴浦町実行委員会の設立について
令和6年10月に開催予定のねんりんピック鳥取大会において、琴浦町でソフトボール競技の交流大会を実施するにあたり、実行委員会を設立しました。
- 2 実行委員会（設立総会）について
日時：令和5年6月15日（木）13：30～
内容：委員の委嘱、会則、事業計画、予算等の説明、承認ほか
- 3 実行委員について
別紙名簿のとおり
- 4 今後のスケジュール
交流大会実施に向け、今後は町管理職等で組織する運営委員会、運営部会で内容を検討し、実行委員会に報告して協議、決定する。
(別紙「役割分担」参照)

○実行委員会のスケジュール（予定）

- R5.6.15 実行委員会設立総会、第1回実行委員会
- R5.10 愛媛大会視察（10/28～10/30 今治市ソフトボール競技会場）
- R5.12 第2回実行委員会（視察報告、R6に向けた準備等協議）
- R6.3 第3回実行委員会（R6事業計画、予算）
- R6.4～ 随時実行委員会を開催し、準備状況や大会PR等について協議
- R6.10 10/19～10/22 とっとり大会開催

ねんりんピックはばたけ鳥取2024琴浦町実行委員会名簿

(敬称略)

	役 職	氏 名	団 体 名 等
1	会 長	福本 まり子	琴浦町長
2	副会長	田邊 正博	琴浦町副町長
3	副会長	河原 裕司	琴浦町教育長
4	委 員	大平 高志	琴浦町議会議長
5	委 員	榎田 勝充	高齢者クラブ
6	委 員	岡田 耕一郎	琴浦町医師会（岡田医院）
7	委 員	宮田 真一	琴浦大山警察署長
8	委 員	山崎 照美	琴浦消防署長
9	委 員	田子 義則	琴浦町スポーツ協会
10	委 員	徳田 博明	鳥取県ソフトボール協会理事長
11	委 員	池本 貴生	琴浦町スポーツ協会ソフトボール部長
12	委 員	丸山 保	スポーツ推進委員会
13	委 員	山本 稔	小・中学校長代表
14	委 員	馬野 慎一郎	琴浦町商工会
15	委 員	正木 信行	鳥取中央農業協同組合（アグリポート琴浦）
16	委 員	川上 一敏	大山乳業農業協同組合
17	委 員	祇園 行裕	赤碕町漁業協同組合
18	委 員	谷口 満	報道関係者（TCC 代表）
19	監 事	中井 一郎	社会福祉協議会
20	監 事	山下 一郎	琴浦町観光協会

事務局	社会教育課	課長	山根 利恵
	〃	課長補佐	柏木 貞昭
	〃	係長	増田 裕子
	〃	専門員	藤原 静香

ねんりんピック実行委員会・運営委員会役割分担

実行委員会
<ul style="list-style-type: none"> ・大会等の開催に必要な計画に関する事 ・大会等の企画及び運営に関する事 ・関係機関及び関係団体との連絡調整 (事務局：社会教育課)

実行委員会委員
主催者（町三役）、町議会議長、社会福祉協議会長、高齢者クラブ会長、医師会、琴浦大山警察署長、琴浦消防署長、町スポーツ協会会長、県ソフトボール協会、町スポーツ協会ソフトボール部長、スポーツ推進委員会会長、小・中学校長代表、商工会会長、観光協会会長、農業・漁業協同組合代表者、報道関係者（TCC代表）ほか

委任

報告

運営委員会（部会） ※部会は関係団体と協力し構成する					
部会	総務・式典	競技	健康づくり	おもてなし	広報
担当業務	<ul style="list-style-type: none"> ・開始式及び表彰式に関する事 ・町民ボランティアに関する事 ・弁当調達に関する事 ・駐車場に関する事 ・警備及び防災に関する事 ・他の部会に属さない事 	<ul style="list-style-type: none"> ・競技運営に関する事 ・競技施設及び用具の整備に関する事 ・競技役員の編成に関する事 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくりに関する事 ・福祉に関する事 ・生きがい関連イベントに関する事 ・医療及び救護に関する事 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光に関する事 ・おもてなしに関する事 ・物販に関する事 ・食品衛生及び環境衛生に関する事 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報及び報道機関との調整に関する事 ・町民協働の推進に関する事
担当課	総務課、議会事務局、建設住宅課、上下水道課	社会教育課、人権・同和教育課	すこやか健康課、福祉あんしん課、町民生活課、出納室	商工観光課、農林水産課、子育て応援課、教育総務課	企画政策課、税務課
事務局担当	柏木	柏木	藤原	増田	増田

琴浦町人権フェスティバル（法務省委託事業）

【事業目的】

町民への学習機会の提供として、さまざまな人権問題から毎年テーマを設定し、人権フェスティバルを実施する。

令和5年度は「中高年のひきこもりの方の人権」をテーマとして講演を企画した。新型コロナウイルス感染症拡大は、内在していた孤独・孤立の問題を顕在化させ、長期化によって一層深刻な社会問題となっている。人と人との交流機会の減少などにより、生活困窮、老老介護、8050問題、ヤングケアラー、不登校など様々な困難に直面する方が増えてきている。

鳥取県では令和4年に「鳥取県孤独・孤立を防ぐ温もりのある支え愛社会づくり推進条例」を制定した。琴浦町でも人権施策基本方針の17項目の分野別施策の推進の中で新たな人権問題として今回取り組むこととした。

1. と き 令和5年7月23日（日） 13:00～16:00
2. ところ
メイン会場 まなびタウンとうはく 多目的ホール
サブ会場 研修室
3. 講演
形式：ハイブリッド
①講演
演題：「生き延びる手段としてのひきこもり
～8050問題とこれからのまちづくりを考える～」
講師：ぼそっと池井多 さん VOSOT（チームぼそっと）主宰
②アーカイブ配信（申込者限定） 7月29日～8月13日まで
申 込 締 切 令和5年7月25日（月）
※手話通訳、要約筆記（県聴覚障害者協会）
※託児スペースあり（研修室）
4. その他の催し
啓発パネル展示（鳥取県立人権ひろば21ふらっとより借用）
物品販売（東伯けんこう）
ユニバーサルスポーツ用品の展示（ボッチャ、ラダーゲッター）

はちまるごーまる
* 8050問題とは … 80代の親、ひきこもりの50代の子どもが親子共に孤立した状態になり生活を継続することが難しくなるという問題です。

	13:00	13:30	13:40	15:10	15:30	16:00
多目的ホール	受付 開場	開会 行事	講 演 ・ 質疑応答	閉会 行事	閉場	
研修室			講 演 [託児あり]			
展示ホール【展 示】	ユニバーサルスポーツ用具 人権啓発パネル 展示					
展示ホール【販売等】	東伯けんこう 野菜等の販売					

*参加費無料 *申込み不要

令和5年度 法務省委託事業

7/23 (日)
13:00~

琴 浦 町

人権フェスティバル

講演 「生き延びる手段としてのひきこもり」

～8050問題とこれからのまちづくりを考える～

講師



いけいだ
ほそつと池井多 さん
VOSOT(チームほそつと)主宰

◆プロフィール
1962年、横浜生まれ。
「世界のひきこもり
地下茎コスモポリタ
ニズム」の著者。
ひきこもり当事者や
経験者の声を発信す
るメディア「ひきポ
ス」の編集委員。

会場 まなびタウンとうはく

琴浦町徳万266-5 (JR浦安駅前)

メイン 4F 多目的ホール

サブ 4F 研修室



サブ会場ではお子さまと一緒に参加できます

*アーカイブ配信します...(申込必要)

7/28~8/14

アーカイブ配信の
申込みは[コチラ](#) >>>

7/25締切



タイムスケジュール

13:00

13:30

13:40

15:10

15:30

16:00

【講演メイン会場】 多目的ホール	受付 開場	開会 行事	講演 (90分)	閉会 行事	閉場
【講演サブ会場】 研修室	受付 開場	開会	講演 (90分) 〔託児あり ※申込不要〕	閉会	閉場
【展示】 展示ホール	13:00~16:00		人権啓発パネル展示 ユニバーサルスポーツ用具 ボッチャ等展示		
【販売等】 展示ホール	13:00~16:00		東伯けんこう 野菜等の販売		

問合せ先

琴浦町教育委員会 人権・同和教育課

☎ 0858-52-1162

【主催】 琴浦町人権・同和教育推進協議会 / 琴浦町 / 琴浦町教育委員会

【協賛】 東伯郡同和对策協議会 【共催】 VOSOT (チームほそつと)

議案第47号

琴浦町教育委員会感謝状贈呈要綱の一部改正について

別紙のとおり、琴浦町教育委員会感謝状贈呈要綱の一部を改正することについて、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第15条第1項の規定に基づき、本委員会の議決を求める。

令和5年6月26日 提出

琴浦町教育委員会教育長 河原裕司

令和5年琴浦町教育委員会訓令第 号

琴浦町教育委員会感謝状贈呈要綱の一部を改正する訓令

琴浦町教育委員会感謝状贈呈要綱(平成29年琴浦町教育委員会訓令第2号)の一部を次のように改正する。

次の表の改正前の欄に掲げる規定を同表の改正後の欄に掲げる規定に、下線で示すように改正する。

改正後	改正前
(感謝状贈呈の対象) 第2条 感謝状は、次の各号のいずれかに該当する個人又は団体に対して贈呈するものとする。 (1) おおむね10年以上にわたり教育、科学、文化、スポーツ、国際交流等の振興又は <u>地域活動を通して</u> 町民の社会生活の向上に寄与し、その功績が顕著である者 (2) おおむね10年以上にわたり <u>町内の小学校及び中学校において教育活動、学校運営、児童生徒の育成支援等に</u> 貢献し、その功績が顕著である者 (3) 略	(感謝状贈呈の対象) 第2条 感謝状は、次の各号のいずれかに該当する個人又は団体に対して贈呈するものとする。 (1) おおむね10年以上にわたり教育、科学、文化、スポーツ、国際交流等の振興又は <u>福祉、健康、環境美化等</u> 町民の社会生活の向上に寄与し、その功績が顕著である者 (2) おおむね10年以上にわたり <u>学校の防犯・防災又は交通安全の推進等に</u> 貢献し、その功績が顕著である者 (3) 略

附 則

この訓令は、令和5年6月26日から施行する。

議案第48号

琴浦町以西地区公民館運営協議会委員の委嘱について

社会教育法（昭和24年法律第207号）第30条第1項並びに琴浦町公民館条例（平成17年条例第28号）第6条第2項の規定により、次の者を委員に委嘱したいので、本委員会の同意を求める。

令和5年 6月26日 提出

琴浦町教育委員会教育長 河原裕司

以西地区公民館運営協議会委員推薦名簿

(任 期：令和5年4月25日～令和6年3月31日)

	氏 名	備 考
(変更前)	前田 清一 小椋 和幸 高力 政寿 池本 貴生 河上 和誠 小川 明子	
(変更後)	山根 礼子 高力 浩幸 川上 和則 小椋 陽子 高力 英明 井上 英之	以西地区振興協議会役員

報告第3号

専決処分（琴浦町会計年度任用職員の任用について）

琴浦町職員の人事異動について、琴浦町教育委員会教育長への事務委任規則（平成16年琴浦町教育委員会規則第7号）第4条第1項の規定により専決したので、別紙のとおり報告します。

令和5年6月26日 提出

琴浦町教育委員会教育長 河原裕司

令和5年度 琴浦町会計年度任用職員

発 令

令和5年6月1日

所 属	職 名	氏 名	備 考
赤碕地区公民館	公民館主事	渡邊 馨	

報告第4号

専決処分（琴浦町学校運営協議会委員の任命について）

学校運営協議会委員の変更について、琴浦町教育委員会教育長への事務委任規則（平成16年琴浦町教育委員会規則第7号）第4条第3項の規定により専決したので、別紙のとおり報告します。

令和5年6月26日 提出

琴浦町教育委員会教育長 河原裕司

赤碕中学校学校運営協議会委員の変更

学校名	変更前委員名	変更後委員名
赤碕中学校	西岡 雅廣	渡邊 馨

任 期 令和5年6月1日～令和7年3月31日

令和 4 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1515	事業名	学校保健対策事業			会計区分	一般会計						
担当課	教育総務課		担当係	総務係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続						
予算区分	款	2	総務費	項	2	総務管理費	目	11	新型コロナウイルス感染症対策費				
まちづくりビジョン	②子ども大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり ②子どもたちが安心して遊び、学べる環境づくり												
	重点項目	ふるさとへの愛着を深める、地域に根差した体験と学びの展開											
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入等の内訳)					
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源						
令和4年度	7,280	980	490				490						
令和4年度(明許)	6,300	6,300	3,149				3,151						
事業目的	国の補正予算を活用し、小中学校における新型コロナウイルス感染症対策を行います。												
事業の主な実施状況	<p>○新型コロナウイルス感染症対策事業</p> <p>1校あたり1,040千円を上限として、ペーパータオル、アルコール消毒液、蓋付きゴミ箱等の、必要な物品を購入しました。</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>消耗品費</td> <td style="text-align: right;">3,460 千円</td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td style="text-align: right;">2,840 千円</td> </tr> </table> <p>※主な購入品</p> <p>東伯中学校:サーキュレーター、CO2モニター、ペーパータオル、ハンドソープ等 赤碕中学校:サーマルカメラ、水栓レバーハンドル、フローリングワイパー他 八橋小学校:水栓レバーハンドル、液晶プロジェクター、フローリングワイパー、網戸等 浦安小学校:CO2モニター、大型スクリーン、アルコール他 聖郷小学校:液晶プロジェクター、フローリングワイパー、使い捨て手袋等 赤碕小学校:液晶プロジェクター、水栓レバーハンドル、フローリングワイパー等 船上小学校:フローリングワイパー、特大パーテーション、アルコール消毒液等</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>リモートでの児童集会</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>感染拡大期の床掃除はフロアモップ</p> </div> </div>									消耗品費	3,460 千円	備品購入費	2,840 千円
消耗品費	3,460 千円												
備品購入費	2,840 千円												
事業目的の達成状況	担当課による評価			S 目的達成									
	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の収束見込みが立たないため、対策を継続する必要があります。</p>												
	<p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染防止に必要な備品及び消耗品を購入し、対策することができました。</p>												
今後の取り組みの方向	<p>【担当課による評価の理由】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の流行下においても、学習活動の継続や行事等の実施を行うために、各学校が工夫して取り組むことができました。</p>												
	<p>新型コロナウイルス感染症について、感染法上の分類が5類に移行されたことに伴い、以前のような感染症対策を講じる必要はなくなっているものの、感染状況等により必要な対応ができるよう準備します。</p>												

令和 4 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1504	事業名	GIGAスクール構想推進事業			会計区分	一般会計			
担当課	教育総務課			担当係	総務係		事業区分	□新規 ■継続		
予算区分	款	2	総務費	項	2	総務管理費	目	11	新型コロナウイルス感染症対策費	
まちづくりビジョン	②子ども大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり ②子どもたちが安心して遊び、学べる環境づくり									
	重点項目	ふるさとへの愛着を深める、地域に根差した体験と学びの展開								
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入等の内訳)		
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源			
令和4年度	5,161	5,161	5,161					0	臨時交付金	
事業目的	新型コロナウイルス感染症等による臨時休業などに備え、GIGAスクール構想で導入した端末を教室での授業以外にも活用できるよう必要な整備を行います。									
事業の主な実施状況	<p>○校内wi-fi環境の追加整備 遠隔授業や教室分散等を行うため、整備済みの教室以外の部屋でもタブレット端末の活用ができるよう、Wi-Fi環境整備を行いました。 整備箇所 職員室、保健室、校長室、体育館 委託料 3,300 千円</p> <p>○学校管理職用iPad整備 授業の補助や各種連絡用に活用するため、各校の教頭用タブレット端末を導入しました。 iPad 7台 315 千円</p> <p>○児童生徒用モバイルルーター貸与事業 自宅でのタブレット端末の活用にあたって、モバイルルーターを整備し、Wi-Fi環境が整っていない家庭に貸与しました。 モバイルルーター(50台) 822 千円 通信費 724 千円</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">いろいろな場所でタブレットを使った活動ができるようになりました</p>									
事業目的の達成状況	担当課による評価				S 目的達成					
	【前年度の課題の概要】									
	-									
【前年度課題についての対応及び成果】										
-										
【担当課による評価の理由】										
<p>校内のほぼ全ての場所においてWi-Fi環境が整ったことで、少人数に分かれての学習や別室での個別学習など、活用の幅が大きく広がりました。 また、必要な家庭にモバイルルーターを貸与することにより、宿題やドリル学習などのほか臨時休業等に備えることができました。</p>										
今後の取り組みの方向	-									

令和 4 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1590	事業名	修学旅行キャンセル料助成事業			会計区分	一般会計		
担当課	教育総務課		担当係	総務係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		
予算区分	款	2	総務費	項	2	総務管理費	目	11	新型コロナウイルス感染症対策費
まちづくりビジョン	②子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり ②子どもたちが安心して遊び、学べる環境づくり								
	重点項目	—							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入等の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和4年度	941	941	941				0	臨時交付金	
事業目的	新型コロナウイルス感染症の影響により発生したキャンセル料について、国の交付金事業を活用し助成を行います。								
事業の主な実施状況	<p>○修学旅行キャンセル料補助金 941 千円 東伯中学校の修学旅行が新型コロナウイルス感染症の影響を受けて直前での延期となったためキャンセル料が発生しましたが、これを全額助成することで保護者の負担軽減を図りました。</p>								
事業目的の達成状況	担当課による評価				S 目的達成				
	【前年度の課題の概要】 -								
	【前年度課題についての対応及び成果】 -								
今後の取り組みの方向	【担当課による評価の理由】 新型コロナウイルス感染症の影響により発生したキャンセル料について全額を助成することで、保護者の負担を軽減することができました。								

令和 4 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	243	事業名	教育委員会費			会計区分	一般会計		
担当課	教育総務課			担当係	総務係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	
予算区分	款	9	教育費	項	1	教育総務費	目	1	教育委員会費
まちづくりビジョン	②子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり ②子どもたちが安心して遊び、学べる環境づくり								
	重点項目	—							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入等の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和4年度	1,825	1,793					1,793		
事業目的	教育行政における重要事項や基本的事項などを決定するとともに、関係事務の執行状況を点検、評価し、地域住民の意向を反映した教育行政を実現するために、琴浦町教育委員会の運営を行います。								
事業の主な実施状況	<p>教育委員会会議や総合教育会議等により、町の教育行政について協議を行うとともに、地域の実情把握のため活動を行いました。</p> <p style="text-align: right;">教育委員会委員報酬 1,718 千円 各種負担金等 75 千円</p> <p>■教育委員会の主な活動状況</p> <p>教育委員会会議 13回 * ホームページにて会議資料と議事録を公開</p> <p>総合教育会議 2回 5/27 ICT 教育について/まちづくりセンターについて/人権施策について 11/30 令和5年度主な教育行政事業計画案について</p> <p>その他の活動状況</p> <p>(1)学校計画訪問 小中学校: 14回 子ども園: 6回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校長、園長から運営方針等聞き取り ・授業及び保育参観 ・教職員との意見交換と指導、助言 <p>(2)町内会議・行事等への参加 教職員宣誓式、小中学校入学式、卒業式等</p> <p>(3)研修・視察・調査等</p> <p style="text-align: right;">計画訪問の様子 </p> <p>6/1 東伯地区教育委員会連絡協議会総会・研修会 7/12鳥取県市町村教育委員会研究協議会研究協議会総会 1/27令和4年度市町村教育委員会委員等研修会</p>								
事業目的の達成状況	担当課による評価				S 目的達成				
	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>各学校や子ども園への計画訪問、研修会等により、就学前教育や特別支援教育、ICT活用教育などの実態把握を、継続して行うことが必要です。</p>								
	<p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>計画訪問の実施、研修会への参加等により、子どもたちの学習環境の把握に努めました。</p> <p>【担当課による評価の理由】</p> <p>コロナ対策等により多くの制約がある中、オンライン研修会等への参加のほか、町内小中学校及び子ども園を訪問し、それぞれの現状把握や教職員との対話の機会としました。</p>								
今後の取り組みの方向	引き続き、教育現場の状況などの把握に努めるとともに、各種研修会等を通じて教育行政について見識を広げるとともに、今後の琴浦町の教育行政のあり方について検討を行います。								

令和 4 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	245	事業名	教育委員会事務局費			会計区分	一般会計																																
担当課	教育総務課			担当係	総務係			事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続																														
予算区分	款	9	教育費	項	1	教育総務費	目	1	事務局費																														
まちづくりビジョン	②子ども大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり ①子どもの成長に寄り添い、まちの特色を活かした教育の重点項目																																						
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入等の内訳)																															
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																																
令和4年度	24,519	23,223		81		4,000	19,142	過疎債4,000千円																															
事業目的	教職員の健康管理や校務用システム環境の整備など、町内の小中学校全般に関わる事務を執行することで、町内の義務教育環境を整えます。																																						
事業の主な実施状況	<p>○ 少人数学級負担金 4,000 千円 少人数学級の実現により、子どもたちの学びやすい環境を整えるとともに、教員の学級経営の負担軽減を図りました。 2,000千円×2クラス(赤碕小学校3年、6年) ◆配置基準(1学級上限人数)</p> <table border="1" style="margin-left: 40px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td>小1</td><td>小2</td><td>小3</td><td>小4</td><td>小5</td><td>小6</td><td>中1</td><td>中2</td><td>中3</td> </tr> <tr> <td>国基準</td> <td>35</td><td>35</td><td>35</td><td>35</td><td>40</td><td>40</td><td>40</td><td>40</td><td>40</td> </tr> <tr> <td>県基準</td> <td>30</td><td>30</td><td>30</td><td>30</td><td>35</td><td>35</td><td>33</td><td>35</td><td>35</td> </tr> </table> <p>○ 教職員校務用PC等維持管理費 15,567 千円 パソコン本体のほか学校業務専用ネットワーク回線及び県下統一の学校業務支援システムに係る経費を負担し、教職員の業務負担軽減を図りました。 PCリース料 ネットワーク保守 システム負担金</p> <p>○ 保護者への経済的支援等 325 千円 フリースクール利用料補助金 就学支援診断書料補助金</p> <p>○ 学習支援員等配置(別事業) 34,185千円 学習支援員、部活動指導員、日本語学習支援員、外国語活動支援員 スクール・ソーシャル・ワーカー、特別支援教育コーディネーター、CSディレクター等</p> <p>○ その他事務費 3,331 千円 ・各種負担金等 ・教職員健康診断 ・消耗品等事務費</p>										小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	国基準	35	35	35	35	40	40	40	40	40	県基準	30	30	30	30	35	35	33	35	35
	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3																														
国基準	35	35	35	35	40	40	40	40	40																														
県基準	30	30	30	30	35	35	33	35	35																														
事業目的の達成状況	担当課による評価				S 目的達成																																		
	<p>【前年度の課題の概要】 鳥取県内でも教員不足は深刻です。 また、児童生徒一人ひとりのニーズにあった個別の指導等に対応するためにも、引き続き人的支援等を行っていく必要があります。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】 県基準による学級編成を行うことで、少人数学級を実現。 また児童生徒のニーズにあわせ、必要な学習支援員等を配置することで、教職員の負担軽減を図りました。</p> <p>【担当課による評価の理由】 少人数学級の実現に加えて学習支援員をはじめとする必要な職員を配置することで、多様化するニーズに対応する学校現場の負担軽減を図ることができました。</p>																																						
	<p>今後の取り組みの方向</p> <p>県費負担教職員の増員、処遇改善等については、引き続き国や県に働きかけを行います。 日本語支援や特別な支援を必要とする児童生徒が増加する中、きめ細かな対応ができるよう、引き続き学習支援員等の配置を行う必要があります。</p>																																						

令和 4 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	246	事業名	ALT配置事業			会計区分	一般会計			
担当課	教育総務課			担当係	総務係		事業区分	□新規 ■継続		
予算区分	款	9	教育費	項	1	教育総務費	目	1	事務局費	
まちづくりビジョン	②子ども大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり④グローバルな社会で活躍できる人材の育成									
	重点項目	—								
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入等の内訳)		
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源			
令和4年度	6,885	6,606				4,000	2,606	過疎債4,000千円		
事業目的	学校生活の中で外国語や外国文化に興味を持つきっかけを作ること、外国語に対して苦手意識を持つことなく、コミュニケーション手法の一つとしての英語力を身につけた人材を育成します。									
事業の 主な 実施状況	<p>○中学校へのALT配置 931千円 JETプログラムを活用して、東伯中学校と赤崎中学校にそれぞれ1名ずつALTを配置しました。 英語の授業をサポートするほか、校内掲示物や図書を通じて英語と親しむ機会を作るなどの活動を行いました。</p> <p style="text-align: right;">各種負担金、ALT家賃補助金等 931千円 ALT人件費(別事業) 5,595千円</p> <p>○小学校へのALT配置 5,676千円 民間事業者への委託により、ALTが町内の全小学校を巡回、指導を行いました。 外国語活動や外国語教科をサポートすることで、教員の負担軽減を図りました。</p>									
	 ピーター先生	 デレク先生	 中学校ALTによるEnglish Wall	 ATM先生						
事業目的 の 達成状況	担当課による評価				A 相当程度進展あり					
	<p>【前年度の課題の概要】 新型コロナウイルス感染症の影響により、JETプログラムによるALT1名が配置できていませ</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】 欠員となっていた東伯中学校にもALTを配置することができました。 小学校にもALTを配置し、外国語活動等のサポートを行うことができました。</p> <p>【担当課による評価の理由】 中学校にはそれぞれ常勤で配置し、英語の授業はもとより校内掲示等により生徒とのコミュニケーションを図るなどの活動も行われています。 小学校については1名のALTが5校を巡回し、児童の外国語への興味を高めることができました。</p>									
今後の 取り組み の 方向	引き続き各中学校に1人ずつ、小学校に1人、ALTを配置します。 授業以外での活動について、各校の意見を取り入れながら拡充します。									

令和 4 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	247	事業名	進学支援事業			会計区分	一般会計		
担当課	教育総務課			担当係	総務係	事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		
予算区分	款	9	教育費	項	1	教育総務費	目	1	事務局費
まちづくりビジョン	②子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり②子どもたちが安心して遊び、学べる環境づくり								
	重点項目	—							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入等の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和4年度	13,800	9,735		2,062	991		6,682	林原育英奨学金貸付金元金収入 林原育英奨学金基金繰入金 林原育英奨学金基金利子	
事業目的	高校生、大学生の修学に係る経費負担を軽減し、修学の機会を拡大します。								
事業の主な実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 進学奨励金給付事業 4,530千円 高校生を対象とした給付型の奨学金を支給しました。 月額 5,000円 高校生 76人 ○ 高校生通学費補助金 4,038千円 高校への通学費の一部を助成することで、保護者の負担軽減を図りました。 高校生 99人 ○ 高校生町内バス通学費補助金 79千円 高校への通学費のうち、琴浦町営バスの定期代については8割を助成しました。 ○ 林原育英奨学金 720千円 無利子の奨学金を貸し付け、高校、大学等への進学を支援しました。 貸与者 1人 								
事業目的の達成状況	担当課による評価				S 目的達成				
	【前年度の課題の概要】 必要な対象者に伝わるよう、継続的に制度の周知が必要です。								
	【前年度課題についての対応及び成果】 広報紙や行政放送、ホームページ等により制度の周知に努めました。								
今後の取り組みの方向	【担当課による評価の理由】 経済的理由によって進路の変更を余儀なくされる生徒がないよう、制度の周知と運用を行いました。 高校生通学費補助金については、制度拡充を検討しました。								
	対象者への周知方法について、さらに工夫を行います。 申請手続きの簡素化などについても検討を進めます。								

令和 4 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1125	事業名	コミュニティ・スクール推進事業			会計区分	一般会計		
担当課	教育総務課			担当係	総務係			事業区分	□新規 ■継続
予算区分	款	9	教育費	項	1	教育総務費	目	1	事務局費
まちづくりビジョン	②子ども大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり①子どもの成長に寄り添い、まちの特色を活かした教育の重点項目 ふるさとへの愛着を深める、地域に根差した体験と学びの展開								
年度	最終予算額(千円)	決算額(千円)	事業費財源内訳(千円)					備考(その他収入等の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和4年度	1,371	734		604					
事業目的	学校、保護者、地域の皆さんがともに知恵を出し合い、一緒になって子どもたちの成長を支えていく「地域とともにある学校づくり」を進めます。								
事業の主な実施状況	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 60%;"> <p>○ コミュニティ・スクールの推進 92 千円 地域の方や外部有識者、学校関係者等によるコミュニティ・スクール推進委員会において、各校の取組状況の共有や意見交換などを行いました。 また他自治体の取組状況等を学ぶ研修会を開催するなど、町内全校での導入に向けた取組を進めました。 推進委員会委員報償費・交通費 62 千円 研修会講師謝金 30 千円</p> <p>○ 学校運営協議会の設置、運営 124 千円 先行導入した2校では学校運営協議会を開催し、学習参観や学校評価に関する保護者アンケート結果などを元にした意見交換などを行いました。 ほから校でも地域との関わりを深めながら、一部の学校では前倒しで年度内に学校運営協議会をスタートさせ、新年度の学校運営方針などについて協議を行いました。 学校運営協議会委員報酬 124 千円</p> <p>○ 学校支援ボランティア活動 518 千円 各校では、保護者や地域のみなさんに学校支援ボランティアとして、登下校、遠足の見守り、読み聞かせ、家庭科等の学習支援などにご協力いただきました。 各種活動用消耗品等 168 千円 ボランティア保険 123 千円 ボランティアコーディネーター報償費 227 千円</p> </div> <div style="width: 35%;">    <p style="text-align: center;">多くの方が学校活動を支援してくださっています</p> </div> </div>								
事業目的の達成状況	担当課による評価				S 目的達成				
	【前年度の課題の概要】								
	先行する2校の状況を町内各校で共有しながら、5校での導入に向けて取組を進めます。								
	【前年度課題についての対応及び成果】								
学校長や地域の方を対象とした研修会の開催や、町広報紙での取組紹介など、コミュニティ・スクールに対する関心を高める取組を行い、町内全7校でコミュニティ・スクールをスタートすることができました。									
【担当課による評価の理由】									
年次計画のとおり町内全校での取組開始を達成することができました。									
今後の取り組みの方向	今後は各校で取り組んでいくこととなります。 学校運営協議会委員を対象とした研修会の開催や、各校の実施状況などを共有するとともに意見交換を行う場をつくり、それぞれの取組みを支援します。								

令和 4 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1476	事業名	共同学校事務室			会計区分	一般会計			
担当課	教育総務課			担当係	総務係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		
予算区分	款	9	教育費	項	1	教育総務費	目	1	事務局費	
まちづくりビジョン	②子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり ②子どもたちが安心して遊び、学べる環境づくり									
	重点項目	—								
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入等の内訳)		
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源			
令和4年度	517	480					480			
事業目的	学校事務の平準化、事務処理の効率化や適正化を図ること、教職員の負担軽減を図ることを目的として、共同学校事務室を設置します。									
事業の主な実施状況	○ 共同学校事務室 480千円 町内小中学校7校において共同で実施することで事務の効率化と平準化を図りました。									
事業目的の達成状況	担当課による評価				S 目的達成					
	【前年度の課題の概要】 -									
	【前年度課題についての対応及び成果】 -									
今後の取り組みの方向	【担当課による評価の理由】 学校徴収金システムの導入により教職員の業務負担が軽減されました。 各校でそれぞれ実施していた同一事務作業を一括して実施するなど、学校事務職員の業務改善につながりました。									
	学校事務の共同実施は学校間の事務の平準化とともに、OJTによる事務職員の育成に効果があるため、継続して実施していきます。 予算要求に関する資料など、事務の率化を図るための検討を行います。									

令和 4 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1533	事業名	ICT教育推進事業			会計区分	一般会計			
担当課	教育総務課			担当係	総務係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		
予算区分	款	9	教育費	項	1	教育総務費	目	1	事務局費	
まちづくりビジョン	②子ども大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり③ICTを活用した個別最適な学びの提供									
	重点項目	—								
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入等の内訳)		
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源			
令和4年度	33,354	32,890					32,890			
事業目的	ICTが進化し変化の激しい社会を生きる子どもたちにもふさわしい、全ての子ども達の可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びを実現するため、ICTを活用した教育を推進します。									
事業の主な実施状況	<p>○学習支援ソフトの活用 5,287千円 授業等で端末を活用するための学習支援ソフトを導入。自分の考えをまとめたり、意見を共有したりするときなどに活用しています。</p> <p>○教員研修の実施 440千円 子どもたちに身につけてほしいスキル、ICTを使うことの意義、問題解決型学習のあり方などについての講義、タブレット活用方法の演習について研修を実施しました。</p> <p style="text-align: center;">実施日 8月5日 対象者 町立小中学校の教員</p> <p>○中学校指導者用デジタル教科書 1,183千円 主要教科の指導者用デジタルを導入しました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p style="text-align: center;">タブレット端末やプロジェクタなどの機器を適宜取り入れた授業を行っています</p>									
事業目的の達成状況	担当課による評価				S 目的達成					
	<p>【前年度の課題の概要】 ICTの活用において教職員のスキル差があるため、引き続き研修が必要です。小学校同様、今後のICT教育を推進していくために中学校の指導者用デジタル教科書の導入が必要です。児童生徒の情報活用能力をアンケートにより把握し、力を伸ばすための取組が必要です。</p>									
	<p>【前年度課題についての対応及び成果】 中学校に指導者用デジタル教科書を整備しました。また、小中学校の教員に対し、ICT活用研修を行いました。</p> <p>【担当課による評価の理由】 情報活用能力のアンケート結果では全体的達成率が上がってきており、これまでの取り組みの成果がでていると考えます。</p>									
今後の取り組みの方向	タブレット端末、プロジェクタその他近年多くの機器を導入しており、計画的な更新について検討が必要です。あわせて、これら機器を広く活用するため、ソフト面の検討も必要です。ICT支援員の配置等、支援体制について検討を行います。									

令和 4 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	256他	事業名	小学校管理費			会計区分	一般会計																														
担当課	教育総務課			担当係	総務係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続																													
予算区分	款	9	教育費	項	2	小学校費	目	1	学校管理費																												
まちづくりビジョン	②子ども大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり③ICTを活用した個別最適な学びの提供																																				
	重点項目	—																																			
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入等の内訳)																													
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																														
令和4年度	85,156	76,018	1,234		340	2,100	72,344	日本スポーツ振興センター保護者負担金																													
事業目的	小学校の運営を円滑にするために施設の維持管理及び環境整備を行います。																																				
事業の 主な 実施状況	○各校維持管理経費 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>予算額</th> <th>決算額</th> <th>主な支出内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>八橋小学校</td> <td>7,905</td> <td>7,326</td> <td>学校施設維持管理費</td> </tr> <tr> <td>浦安小学校</td> <td>7,794</td> <td>6,456</td> <td>光熱水費</td> </tr> <tr> <td>聖郷小学校</td> <td>7,112</td> <td>6,324</td> <td>通信運搬費</td> </tr> <tr> <td>赤碕小学校</td> <td>7,852</td> <td>6,883</td> <td>消耗品費</td> </tr> <tr> <td>船上小学校</td> <td>6,592</td> <td>5,761</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td>配分外</td> <td>47,901</td> <td>43,268</td> <td>* 下記のとおり</td> </tr> </tbody> </table>										予算額	決算額	主な支出内容	八橋小学校	7,905	7,326	学校施設維持管理費	浦安小学校	7,794	6,456	光熱水費	聖郷小学校	7,112	6,324	通信運搬費	赤碕小学校	7,852	6,883	消耗品費	船上小学校	6,592	5,761	その他	配分外	47,901	43,268	* 下記のとおり
		予算額	決算額	主な支出内容																																	
八橋小学校	7,905	7,326	学校施設維持管理費																																		
浦安小学校	7,794	6,456	光熱水費																																		
聖郷小学校	7,112	6,324	通信運搬費																																		
赤碕小学校	7,852	6,883	消耗品費																																		
船上小学校	6,592	5,761	その他																																		
配分外	47,901	43,268	* 下記のとおり																																		
○スクールバス運行业務委託料 11,489千円 聖郷小学校、船上小学校の児童の通学のためスクールバスを運行しました。 利用児童 聖郷小学校 28人 船上小学校 52人																																					
○学校施設の保守・管理費 5,313千円																																					
○嘱託医報酬、児童生徒健康診断等 2,627千円																																					
○改修工事・修繕等 16,195千円 <table style="width: 100%; margin-top: 5px;"> <tr> <td>八橋小学校図書室空調更新工事</td> <td style="text-align: right;">4,636千円</td> </tr> <tr> <td>浦安小学校高圧開閉器取替工事</td> <td style="text-align: right;">1,185千円</td> </tr> <tr> <td>教室ホワイトボード改修工事(八橋・聖郷・赤碕)</td> <td style="text-align: right;">1,164千円</td> </tr> <tr> <td>遊具修繕</td> <td style="text-align: right;">2,014千円</td> </tr> <tr> <td>危険遊具撤去</td> <td style="text-align: right;">1,276千円</td> </tr> <tr> <td>船上小学校屋根瓦修繕</td> <td style="text-align: right;">748千円</td> </tr> <tr> <td>その他修繕</td> <td style="text-align: right;">5,172千円</td> </tr> </table>									八橋小学校図書室空調更新工事	4,636千円	浦安小学校高圧開閉器取替工事	1,185千円	教室ホワイトボード改修工事(八橋・聖郷・赤碕)	1,164千円	遊具修繕	2,014千円	危険遊具撤去	1,276千円	船上小学校屋根瓦修繕	748千円	その他修繕	5,172千円															
八橋小学校図書室空調更新工事	4,636千円																																				
浦安小学校高圧開閉器取替工事	1,185千円																																				
教室ホワイトボード改修工事(八橋・聖郷・赤碕)	1,164千円																																				
遊具修繕	2,014千円																																				
危険遊具撤去	1,276千円																																				
船上小学校屋根瓦修繕	748千円																																				
その他修繕	5,172千円																																				
始業前から賑わう図書室																																					
																																					
事業目的の 達成状況	担当課による評価				S 目的達成																																
	【前年度の課題の概要】 トイレの洋式化、照明のLED化等、設備改修に係る年次計画について検討が必要です。																																				
	【前年度課題についての対応及び成果】 設備改修の計画により八橋小学校図書室の空調更新を前倒しで実施しました。 またその他の学校においても空調更新工事に向けて準備をすることができました。																																				
【担当課による評価の理由】 各校の施設設備について不具合や故障が多発していますが、速やかに対応することができました。																																					
今後の 取り組み の 方向	朽化が進む中、公共施設としての役割を果たすため、適切維持管理を行います。																																				

令和 4 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	262他	事業名	小学校教育振興費			会計区分	一般会計																																			
担当課	教育総務課			担当係	総務係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続																																		
予算区分	款	9	教育費	項	2	小学校費	目	2	教育振興費																																	
まちづくりビジョン	②子ども大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり③ICTを活用した個別最適な学びの提供																																									
	重点項目	—																																								
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入等の内訳)																																		
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																																			
令和4年度	29,256	25,764	719	300	2,264		22,481	<small>寄付金 赤崎中学校区小学校図書購入基金購入金 赤崎中学校区小学校図書購入基金利子</small>																																		
事業目的	小学校教育の振興のため、必要な環境整備その他の施策を講じます。 就学援助など義務教育の円滑な実施を目指します。																																									
事業の 主な 実施状況	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>予算額</th> <th>決算額</th> <th>主な支出内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>八橋小学校</td> <td>2,355</td> <td>2,315</td> <td>備品購入費(教材・図書)</td> </tr> <tr> <td>浦安小学校</td> <td>3,046</td> <td>2,911</td> <td>消耗品費</td> </tr> <tr> <td>聖郷小学校</td> <td>1,966</td> <td>1,921</td> <td></td> </tr> <tr> <td>赤碕小学校</td> <td>2,600</td> <td>2,493</td> <td></td> </tr> <tr> <td>船上小学校</td> <td>2,278</td> <td>2,115</td> <td></td> </tr> <tr> <td>通級指導教室</td> <td>99</td> <td>97</td> <td></td> </tr> <tr> <td>配分外</td> <td>16,912</td> <td>13,912</td> <td>下記のとおり</td> </tr> </tbody> </table>											予算額	決算額	主な支出内容	八橋小学校	2,355	2,315	備品購入費(教材・図書)	浦安小学校	3,046	2,911	消耗品費	聖郷小学校	1,966	1,921		赤碕小学校	2,600	2,493		船上小学校	2,278	2,115		通級指導教室	99	97		配分外	16,912	13,912	下記のとおり
		予算額	決算額	主な支出内容																																						
八橋小学校	2,355	2,315	備品購入費(教材・図書)																																							
浦安小学校	3,046	2,911	消耗品費																																							
聖郷小学校	1,966	1,921																																								
赤碕小学校	2,600	2,493																																								
船上小学校	2,278	2,115																																								
通級指導教室	99	97																																								
配分外	16,912	13,912	下記のとおり																																							
	<p>○学校独自事業、総合的な学習 885千円 各学校が独自に行う課題解決のための取組み、または各学校の特徴を活かした取組みなどを推進し、それぞれ特色ある学校づくりに努めました。</p> <p>○就学援助費等 8,031千円 必要とする家庭に対して経済的支援を行うことで、教育の機会均等を図りました。</p> <p>○備品購入費 6,256千円 教師用教科書及び指導書 648千円 オルガン(寄付金活用) 1,188千円 教材備品費 545千円 図書購入費 3,802千円</p>																																									
																																										
	梨栽培やお店の仕事を学習する様子			寄付金でオルガンを購入させていただきました																																						
事業目的の 達成状況	担当課による評価			S 目的達成																																						
	【前年度の課題の概要】 引き続き、デジタル教科書の普及に合わせた、サポート体制を充実させていく必要があります。																																									
	【前年度課題についての対応及び成果】 ICTの活用のために必要な備品を整備し、教員を対象とした研修を行います。																																									
	【担当課による評価の理由】 各校が進める、それぞれの特徴を活かした教育を支援しました。 地域の自然や文化などから学ぶ機会、体験する機会を提供しました。																																									
今後の 取り組み の 方向	それぞれの地域の特徴をいかした体験学習や調べ学習など、各校の特色ある取組みを引き続き支援します。																																									

令和 4 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	277他	事業名	中学校管理費			会計区分	一般会計																		
担当課	教育総務課			担当係	総務係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続																	
予算区分	款	9	教育費	項	3	中学校費	目	1	学校管理費																
まちづくりビジョン	②子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり③ICTを活用した個別最適な学びの提供																								
	重点項目	—																							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入等の内訳)																	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																		
令和4年度	48,067	31,067			177		30,890	日本スポーツ振興センター保護者負担金																	
令和4年度(明許)																									
事業目的	中学校の運営を円滑にするために施設の維持管理及び環境整備を行います。																								
事業の 主な 実施状況	<p>○各校維持管理経費</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>予算額</th> <th>決算額</th> <th>主な支出内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東伯中学校</td> <td>11,043</td> <td>10,112</td> <td>学校施設維持管理費</td> </tr> <tr> <td>赤碕中学校</td> <td>8,955</td> <td>8,141</td> <td>光熱水費、通信運搬費 消耗品費、そ</td> </tr> <tr> <td>配分外</td> <td>28,069</td> <td>12,814</td> <td>* 下記のとおり</td> </tr> </tbody> </table> <p>○学校施設の保守・管理費 3,601千円</p> <p>○嘱託医報酬、児童生徒健康診断等 1,084千円</p> <p>○改修工事・修繕等 4,831千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 東伯中学校エレベーター部品交換 1,349千円 東伯中学校FF暖房撤去 526千円 赤碕中学校外壁修繕 461千円 赤碕中学校渡り廊下屋根修繕 412千円 その他修繕 2,083千円 										予算額	決算額	主な支出内容	東伯中学校	11,043	10,112	学校施設維持管理費	赤碕中学校	8,955	8,141	光熱水費、通信運搬費 消耗品費、そ	配分外	28,069	12,814	* 下記のとおり
	予算額	決算額	主な支出内容																						
東伯中学校	11,043	10,112	学校施設維持管理費																						
赤碕中学校	8,955	8,141	光熱水費、通信運搬費 消耗品費、そ																						
配分外	28,069	12,814	* 下記のとおり																						
事業目的 の 達成状況	担当課による評価				S 目的達成																				
	<p>【前年度の課題の概要】 トイレの洋式化、照明のLED化等、設備改修に係る年次計画について検討が必要です。</p>																								
	<p>【前年度課題についての対応及び成果】 空調設備更新に向け、計画の作成に取り組みました。</p>																								
今後の 取り組み の 方向	<p>【担当課による評価の理由】 各校の施設設備について不具合や故障が多発していますが、速やかに対応することができました。</p>																								
	<p>老朽化が進む中、公共施設としての役割を果たすため、適切維持管理を行います。</p>																								

令和 4 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	280他	事業名	中学校教育振興費			会計区分	一般会計																					
担当課	教育総務課			担当係	総務係		事業区分	□新規 ■継続																				
予算区分	款	9	教育費	項	3	中学校費	目	2	教育振興費																			
まちづくりビジョン	②子ども大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり③ICTを活用した個別最適な学びの提供																											
	重点項目	—																										
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入等の内訳)																				
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																					
令和4年度	28,084	23,407	445	253	1		22,708	赤碕中学校図書購入基金利子																				
令和4年度(明許)																												
事業目的	中学校教育の振興のため、必要な環境整備その他の施策を講じます。 遠距離通学に対する助成や就学援助など義務教育の円滑な実施を目指します。																											
事業の 主な 実施状況	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>予算額</th> <th>決算額</th> <th>主な支出内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東伯中学校</td> <td>5,747</td> <td>5,564</td> <td rowspan="2">備品購入費(教材備品、図書)</td> </tr> <tr> <td>赤碕中学校</td> <td>4,322</td> <td>4,276</td> </tr> <tr> <td>通級指導教室</td> <td>21</td> <td>20</td> <td>消耗品費</td> </tr> <tr> <td>配分外</td> <td>17,994</td> <td>13,547</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				予算額	決算額	主な支出内容	東伯中学校	5,747	5,564	備品購入費(教材備品、図書)	赤碕中学校	4,322	4,276	通級指導教室	21	20	消耗品費	配分外	17,994	13,547							
		予算額	決算額	主な支出内容																								
東伯中学校	5,747	5,564	備品購入費(教材備品、図書)																									
赤碕中学校	4,322	4,276																										
通級指導教室	21	20	消耗品費																									
配分外	17,994	13,547																										
<p>○学校独自事業、総合的な学習 520千円 各学校が独自に行う課題解決のための取組み、または各学校の特徴を活かした取組みなどを推進し、それぞれ特色ある学校づくりに努めました。</p> <p>○就学援助費等 7,396千円 必要とする家庭に対して経済的支援を行うことで、教育の機会均等を図りました。</p> <p>○備品購入費 4,469千円 教材備品費 1,597千円 図書購入費 2,873千円</p>																												
																												
町内多くの事業所にお世話になり職場体験学習を行いました																												
事業目的の 達成状況	担当課による評価				S 目的達成																							
	<p>【前年度の課題の概要】 引き続き、デジタル教科書の普及に合わせた、サポート体制を充実させていく必要があります。</p>																											
	<p>【前年度課題についての対応及び成果】 ICTの活用のために必要な備品を整備し、教員を対象とした研修を行います。</p>																											
	<p>【担当課による評価の理由】 各校が進める、それぞれの特徴を活かした教育を支援しました。 地域の自然や文化などから学ぶ機会、体験する機会を提供しました。</p>																											
今後の 取り組み の 方向	それぞれの地域の特徴をいかしたふるさと教育など各校の取組みを引き続き支援します。																											

令和 4 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	353	事業名	学校給食事業			会計区分	一般会計																														
担当課	教育総務課		担当係	総務係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続																														
予算区分	款	9	教育費	項	5	保健体育費	目	4	給食センター運営費																												
まちづくりビジョン	②子ども大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり ①子どもの成長に寄り添い、まちの特色を活かした教育の重点項目																																				
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入等の内訳)																													
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																														
令和4年度	173,629	166,271	730		75,925		89,616	給食費																													
令和4年度(明許)	0	0	0	0	0	0	0																														
事業目的	児童生徒の心身の健全な発達のため、バランスのとれた栄養豊かな給食を提供するとともに、「食を通して生きる力を育む」ことを目的に、教育の一環として実施します。																																				
事業の主な実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 年間を通して米飯またはパン、牛乳、副食の完全給食を実施しました。 調理業務、配送業務は民間事業者のノウハウを活用し、安心安全な給食の提供を行いました。 年間提供基準回数 185回 <table border="1" style="margin-left: 20px; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>給食費</th> <th>保護者負担</th> <th>町負担</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>296円</td> <td>285円</td> <td>11円</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>337円</td> <td>326円</td> <td>11円</td> </tr> </tbody> </table> ○ 食育の取り組み 「食育だより」等により食に関する知識や習慣などの情報発信に努めました。 学校と給食センターが連携し、各小中学校で食育指導等を行いました。 地元産品を活用した「惑星コトウラ給食」を3回実施し、児童生徒に町の魅力を発信しました。 その際に地区公民館での試食会実施、町内団体による給食コラボ弁当が販売されました。 ○ 経費内訳 <table style="margin-left: 20px; margin-top: 10px;"> <tr> <td>給食物資購入費</td> <td style="text-align: right;">82,956 千円</td> </tr> <tr> <td>光熱水費</td> <td style="text-align: right;">14,071 千円</td> </tr> <tr> <td>調理業務委託料</td> <td style="text-align: right;">49,390 千円</td> </tr> <tr> <td>配送業務委託料</td> <td style="text-align: right;">12,783 千円</td> </tr> <tr> <td>備品</td> <td style="text-align: right;">605 千円</td> </tr> <tr> <td>保守管理点検等</td> <td style="text-align: right;">2,380 千円</td> </tr> <tr> <td>その他維持管理費</td> <td style="text-align: right;">4,086 千円</td> </tr> </table> 												給食費	保護者負担	町負担	小学校	296円	285円	11円	中学校	337円	326円	11円	給食物資購入費	82,956 千円	光熱水費	14,071 千円	調理業務委託料	49,390 千円	配送業務委託料	12,783 千円	備品	605 千円	保守管理点検等	2,380 千円	その他維持管理費	4,086 千円
	給食費	保護者負担	町負担																																		
小学校	296円	285円	11円																																		
中学校	337円	326円	11円																																		
給食物資購入費	82,956 千円																																				
光熱水費	14,071 千円																																				
調理業務委託料	49,390 千円																																				
配送業務委託料	12,783 千円																																				
備品	605 千円																																				
保守管理点検等	2,380 千円																																				
その他維持管理費	4,086 千円																																				
事業目的の達成状況	担当課による評価		A 相当程度進展あり																																		
今後の取り組みの方向	調理業者、配送業者と連携し、安全な給食の安定提供を進めます。 調理機器や施設などの更新計画を作成し、年次的に更新、修繕を実施していきます。 安心安全な食材の安定調達に努めます。																																				



令和 4 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1516	事業名	withコロナ時代の生涯学習推進環境整備			会計区分	一般会計		
担当課	社会教育課		担当係	図書館係		事業区分	■新規 □継続		
予算区分	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	目	新型コロナウイルス感染症対策費
まちづくりビジョン	②子ども大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				⑤大人に対する学びの環境づくり				
	重点項目	ふるさとへの愛着を深める、地域に根差した体験と学びの展開							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和4年度	3,150	3,150	2,880	0	0	0	0	270	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金
令和4年度(明許)	0	0	0	0	0	0	0	0	
事業目的	新型コロナウイルス感染症対策事業として、デジタル技術の活用、安全な場の提供等の環境整備を実施します。								
事業の 主な 実施状況	<p>① withコロナ時代の生涯学習推進環境整備 備品購入 iPad 9台、プロジェクター 9台 2,421千円</p> <p>デジタル技術を活用した生涯学習の提供を行える設備を導入しました。 各地区公民館においてリモート環境で研修、会議参加ができるよう設備を導入しました。</p> <p>② withコロナ時代の図書館環境整備 備品購入 ブックトラック5台 219千円</p> <p>まなタン館内の図書館外でも図書館資料を利用可能にし、安心して読書できるスペースを確保しました。 一般向けや中高生向けの図書コーナー、展示と合わせた図書コーナーを設置しました。</p>								
									
	<p>③ 東伯総合公園デジタル環境整備 備品購入 トレーニングルーム入退室管理ソフト 306千円 備品購入 iPad 1台 204千円(交付金対象外)</p> <p>非接触による入退室管理システムをトレーニングルームに導入しました。 また、非接触対応のためオンライン予約ができるようになった公共施設予約システムの利用促進に向け、デジタル環境にない人も来館時に利用予約ができるよう、タブレット端末を導入しま</p>								
	担当課による評価				A 相当程度進展あり				
事業目的 の 達成状況	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>① コロナ禍による制限がある中で、事業参加できる環境が必要です。</p> <p>② 利用制限のため、図書館内の閲覧席を減らしたため、利用者が安心して読書できる場所が必要です。</p>								
	<p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>① デジタル機器の導入により、リモート環境を整備しました。</p> <p>② 図書館外でも読書が可能になり、安心して利用できるようになったことで利用促進に繋がりました。</p>								
	<p>【担当課による評価の理由】</p> <p>①環境整備することにより、事業参加の機会が増えました。</p> <p>②図書館外で読書をする利用者の姿が多く見られ、読書環境の提供が十分にできたと判断し、A 相当程度進展ありと判断しました。</p> <p>③非接触による施設利用環境の整備を進めることができました。</p>								
今後の 取り組み の 方向	<p>①事業をリモート配信するなど、学習機会を拡大していきます。</p> <p>②引き続き、利用者が安心して読書できる環境を提供していく必要があります。</p> <p>③安全安心な利用環境の整備とともに、公共施設予約システムなどの利用促進に向け、利用課題の洗い出しと改善を進めます。</p>								

令和 4 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	309	事業名	次世代ことうらっ子育み推進事業			会計区分	一般会計		
担当課	社会教育課			担当係	生涯学習係	事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	1	社会教育総務費
まちづくりビジョン	②子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				①子どもの成長に寄り添い、まちの特色を活かした教育の推進				
	重点項目	ふるさとへの愛着を深める、地域に根差した体験と学びの展開							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和4年度	1,932	1,228	0	817	0	0	411		
令和4年度(明許)	0	0	0	0	0	0	0		
事業目的	体験教室を通じた世代間交流や、ふるさとの自然や歴史の学びを通して、子どもの心身・想像力・生きる力、ふるさとを愛する心を育てます。地域住民の参画を得て、子どもたちの学校以外の居場所を確保し、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進します。								
事業の 主な 実施状況	<p>① 放課後子ども教室 週に1回、放課後に地域住民の参画を得て学習・体験活動(スポーツ、遊び、野菜作り、物づくり等)を実施しました。 水曜みちくさクラブ(会場:成美地区公民館) 参加児童数:年間延べ76名(コロナ感染状況を見ながら9月~3月に実施)</p> <p>② 家庭教育講座 聖郷小学校と連携し、講演会を開催しました。 講演内容:講演 内容:「人が生まれることの意味」~命の大切さと性の自認、肯定的にとらえた生き方など 参加者:保護者15名</p> <p>③ ことうら子どもパーク ことうら子どもパーク運営委員会へ委託し、ものづくり(プラ板、万華鏡、ピザ、アイシングクッキーなど)の体験教室を年間21回開催しました。 参加児童数:年間延べ207名(平均13.8人/回)</p> <div style="text-align: right;">  <p>熱心に取り組む様子</p> </div> <p>④ 琴浦こども塾 琴浦こども塾運営委員会に委託し、論語を柱としたふるさと教育、礼儀作法など、年間17回実施しました。 令和4年度塾生:30名 開催日:毎月第1・第3土曜日</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>社会科見学の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div>								
	担当課による評価				B 進展が大きくない				
事業目的 の 達成状況	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>① こどもパーク、こども塾の運営委員の後継者を見つけることが課題です。 ② こども塾の塾生が増加したため、授業内容、運営方法を検討する必要があります。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>① 運営委員の後継者探しにも取り組んだが見つかることができませんでした。 ② 受講生が増加したため、図書館や他団体と連携をして幅広い学習内容に取り組みました。</p> <p>【担当課による評価の理由】</p> <p>図書館や他団体と連携し、幅広い学習内容を提供することができました。 委託先の事務局の後継者が見つかっていないため、今後の事業継続に向けて課題が残りました。</p>								
今後の 取り組み の 方向	<p>①こども塾、子どもパークとも運営委員の後継者を見つけることが課題です。 ②例年同じ内容だと参加者も固定化するため、実施内容を検討し、多くの参加者に経験の場を与えることが必要です。 ③放課後子ども教室を他地区に広めることを進めます。</p>								

令和 4 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	292	事業名	社会教育振興			会計区分	一般会計		
担当課	社会教育課			担当係	生涯学習係	事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	1	社会教育総務費
まちづくりビジョン	②子ども大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				⑤大人に対する学びの環境づくり				
	重点項目	ふるさとへの愛着を深める、地域に根差した体験と学びの展開							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和4年度	1,784	1,337	0	0	0	0	1,337		
令和4年度(明許)	0	0	0	0	0	0	0		
事業目的	「学びあい・高めあい『幸せ』感じるまちづくり」を推進します。(社会教育における地方公共団体の任務[学び・教え合いの奨励による住民自ら課題解決に向けて高め合う機運の醸成]と生涯学習の理念[豊かな人生]のイメージの具現化を目指します。)								
事業の 主な 実施状況	① 補助金交付 町内で活躍する社会教育関係団体に補助金を交付し、地域住民主役の地域学習活動推進を奨励・支援しました。 交付団体: 東伯文化協会、赤碕文化協会、町連合婦人会の3団体 合計275千円								
				内容			実績額	財源内訳	
	文化協会補助金	赤碕文化協会・東伯文化協会が団体や会員の相互の連携を保ちながら郷土発展に寄与することを目的とした活動の支援を行いました。			54	単町 (10/10)			
	町連合婦人会補助金	男女共同参画、青少年の健全育成、高齢化社会や環境浄化への対応、地域福祉の増進を図るために行う、会員研修や事業実施を支援しました。			221	単町 (10/10)			
	② 琴浦町社会教育委員会の開催 委員報酬20千円 5月、3月の2回開催。本町の社会教育行政に係る意見交換、助言を求めることができました。								
	③ その他経費 関係団体負担金 145千円 消耗品、燃料費、手数料等 917千円								
事業目的の 達成状況	担当課による評価				B 進展が大きい				
	【前年度の課題の概要】 社会教育委員会に対し、琴浦町の社会教育のあり方について、取組状況を情報提供し、課題の検討や助言を受けられるよう、年度当初の開催が必要です。								
	【前年度課題についての対応及び成果】 社会教育委員会を年度当初・年度末に2回開催し、年度当初には事業の柱や主要事業の説明を行い意見を求めることができ、年度末には事業の報告を行い、次年度へ活かせるようにしました。								
今後の 取り組み の 方向	【担当課による評価の理由】 例年1回以下の開催であった社会教育委員会を令和4年度は2回開催することができ、委員の意見を聞く機会を増やし、社会教育行政に活かすことができました。 一方で、青少年健全育成やPTA研修はコロナの状況も踏まえ、以前のような活動にまでは至りませんでした。								
	新型コロナの5類移行に伴い、社会教育団体の活動もコロナ前に戻りつつあるので、各種団体の活動が活発となるよう支援をします。 社会教育委員会などで町の教育行政の進め方について積極的に意見を聴取し、事業に活かします。								

令和 4 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	303	事業名	青少年育成啓発事業			会計区分	一般会計		
担当課	社会教育課			担当係	生涯学習係		事業区分	□新規 ■継続	
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	1	社会教育総務費
まちづくりビジョン	②子ども大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				①子どもの成長に寄り添い、まちの特色を活かした教育の推進				
	重点項目	ふるさとへの愛着を深める、地域に根差した体験と学びの展開							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和4年度	128	51	0	0	0	0	51		
令和4年度(明許)	0	0	0	0	0	0	0		
事業目的	青少年の自主的な地域活動の促進と、地域における青少年の健全育成を実現するため、子ども会活動支援、ジュニアリーダーの養成を行います。								
事業の 主な 実施状況	<p>① 子ども会活動支援 51千円 「子どもの手による子ども会」の推進のため、次年度の子ども会リーダーおよび保護者を対象とした子ども会リーダー研修会を実施しました。 開催日 令和5年3月19日(日) テーマ 「子どもが主役の子ども会活動」 「子ども会と防災」 「常時活動の推進(コロナ禍でもできること)」 参加者 子ども17人、保護者13人</p>								
	 <p>リーダー研修の様子</p>	 <p>保護者研修の様子</p>							
	担当課による評価				C 進展なし				
事業目的 の 達成状況	<p>【前年度の課題の概要】 引き続き、活動が活発になるよう支援を行っていきます。</p>								
	<p>【前年度課題についての対応及び成果】 コロナ禍により子ども会活動は停滞しているという現状がありましたが、次年度からの活動再開を見据えて子ども会リーダー研修会を開催しました。</p>								
	<p>【担当課による評価の理由】 リーダー研修会の参加者数が例年より少なかったですが、コロナ禍でも研修を実施することができましたが、それ以外の活動に取り組めませんでした。</p>								
今後の 取り組み の 方向	子ども会活動の支援に加え、新たに地域で活躍されている安全パトロール隊員を対象とした研修を行い、青少年を取り巻く現状について知ってもらうとともに、より安心・安全な地域づくりを図ります。								

令和 4 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	674	事業名	赤碕地区公民館事業			会計区分	一般会計		
担当課	社会教育課			担当係	生涯学習係	事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	2	公民館費
まちづくりビジョン	②子ども大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				⑤大人に対する学びの環境づくり				
	重点項目	ふるさとへの愛着を深める、地域に根差した体験と学びの展開							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和4年度	2,589	2,278	0	0	9	1,100	1,169	過疎対策事業債1,100千円 公民館使用料9千円	
令和4年度(明許)	0	0	0	0	0	0	0		
事業目的	赤碕地区内各自治会と連携した教育・学習事業の展開を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高めあうような環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興、地域課題の解決等を図ります。								
事業の 主な 実施状況	<p>社会教育法並びに琴浦町公民館条例の規定に基づき赤碕地区公民館を設置、館長・主事を配置し、各種教育事業展開を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高め得るような環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興等を図りました。</p> <p>【赤碕地区公民館開催事業・講座状況】 開催回数 46回、参加者数のべ849人 はた織り教室、ハマナス見学会、木目込み人形教室、乳幼児学級、チャレンジ登山など</p>								
	 9月30日 ふるさと赤碕ウォーク	 5月15日 ハマナス見学会							
	担当課による評価			B 進捗が大きくない					
事業目的 の 達成状況	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>①コロナウイルス感染状況を見ながら感染防止対策をし、できる事業を実施する。 ②まちづくりセンター化に向けて、地域の方と学び赤碕の組織体制を考えていく。</p>								
	<p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>①コロナウイルスの感染者数を見ながら、換気や人数制限など対策を取り事業を行いました。 ②企画政策課と館で状況の確認を行い、組織体制づくりに向けて区長会への説明等を行いました。</p>								
今後の 取り組み の 方向	<p>【担当課による評価の理由】</p> <p>感染症対策を講じながら事業を実施しました。サークル活動は活発に行われているので、継続していけるよう環境整備に努めました。 センター化を見据え区長会へ説明を行ってきましたが、新しい動きには至っていません。</p>								
	<p>① 地域住民の居場所づくりに繋がる事業を進めていきます。 ② 地域住民のニーズや地域課題に応じた事業を企画するとともに、住民参加型の運営体制を検討していきます。</p>								

令和 4 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	675	事業名	安田地区公民館事業			会計区分	一般会計			
担当課	社会教育課			担当係	生涯学習係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	2	公民館費	
まちづくりビジョン	②子ども大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり			⑤大人に対する学びの環境づくり						
	重点項目	ふるさとへの愛着を深める、地域に根差した体験と学びの展開								
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)		
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源			
令和4年度	1,590	1,529	0	0	39	0	1,490	公民館使用料		
令和4年度(明許)	0	0	0	0	0	0	0			
事業目的	地域住民自らが実生活に即した文化的教養を高めることができる環境を醸成し、教養向上、健康増進、生活文化の振興、社会福祉の増進を図ります。 また、住民相互の連携と協同により、地区内の課題解決に努め、安心して暮らせる地域づくりを推進す									
事業の主な実施状況	<p>社会教育法並びに琴浦町公民館条例の規定に基づき安田地区公民館を設置、館長・主事を配置し、各種教育事業展開を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高め得るような環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興等を図りました。 また、まちづくりセンター化に向けて住民と協議を重ね、安田地域づくり協議会が設立されました。</p> <p>【安田地区公民館開催事業・講座状況】 年間開催回数：57回、のべ842人 ボードゲーム体験会、健康麻雀教室、スマホ教室、切り絵教室、安田地区作品展など</p> <p>【まちづくりセンター化に向けた取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設立準備会：6回、のべ 77人 ・連絡協議会：3回、のべ 65人 ・事務局会議：12回、のべ120人 ・区長会：2回、のべ 26人 ・説明会及びワークショップ 30人 ・旧安田小学校改修詳細設計検討会：2回、のべ21人 ・先進地視察(八頭町)13人 ・安田地域づくり協議会設立総会 60人 									
										
	2月19日 安田地域づくり協議会設立総会				2月24日～26日 安田地区作品展					
事業目的の達成状況	担当課による評価				S 目的達成					
	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>① 新型コロナウイルス感染対策を考慮して、住民の方々が安心・安全に参加できるよう事業展開をしていきます。</p> <p>② 令和5年4月に発足する安田地域づくり協議会を推進していくため、安田まちづくりセンター設立準備会・連絡協議会を中心に審議を進めていき、また公民館・振興協議会・集落支援員との連携をとり、活動事業を協議し展開していきます。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>① 昨年度同様、新型コロナウイルス感染対策を徹底して、物づくりや安田地区作品展などを企画運営し、体験活動及び活動発表の場を提供し、多くの住民と交流を深めることができました。</p> <p>② まちづくりセンター化に向けた取り組みも、公民館、振興協議会及び集落支援員が一体となって取り組み、2月19日に、「安田地域づくり協議会」設立総会を開催しました。</p> <p>【担当課による評価の理由】</p> <p>昨年度からまちづくりセンター化に向けて、設立準備会や連絡協議会等で地区住民の意見を聞きながら組織の設立を目指し取り組みました。 令和5年2月19日に設立総会を開催することができ、「安田地域づくり協議会」としての活動をスタートさせました。</p>									
今後の取り組みの方向	今年度「安田地域づくり協議会」が設立されたことから、今後は地域住民の教養の向上、生活文化の振興を図るとともに、住民相互の連携と共同により、地域内の課題解決に向けた取り組みに努め、地域住民全ての人々が安心して暮らせる地域づくりを推進していきます。									

令和 4 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	676	事業名	成美地区公民館事業			会計区分	一般会計		
担当課	社会教育課			担当係	生涯学習係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	2	公民館費
まちづくりビジョン	②子ども大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				⑤大人に対する学びの環境づくり				
	重点項目	ふるさとへの愛着を深める、地域に根差した体験と学びの展開							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和4年度	1,581	1,481	0	0	45	0	1,436	公民館使用料	
令和4年度(明許)	0	0	0	0	0	0	0		
事業目的	成美地区内各自治会と連携した地域密着型の教育・学習事業を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高め合うような環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興、地域課題の解決等を図ります。								
事業の 主な 実施状況	<p>社会教育法並びに琴浦町公民館条例の規定に基づき成美地区公民館を設置、館長・主事を配置し、各種教育事業展開を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高め得るような環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興等を図りました。</p> <p>【成美地区公民館開催事業・講座状況】 開催回数 307回 参加者数 のべ 4,533人 スマホ教室、防災講習会、成美地区運動会、おから教室、門松づくりなど</p>								
	 <p style="text-align: center;">6月24日 防災講習会</p>			 <p style="text-align: center;">10月2日 成美地区運動会</p>					
 <p style="text-align: center;">12月18日 福がいっぱい 門松づくり</p>			 <p style="text-align: center;">3月12日 大豆のちから! おから教室</p>						
	担当課による評価				A 相当程度進展あり				
事業目的 の 達成状況	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>① まちづくりセンター化に向けて、地域・地域団体・学校やこども園との連携がさらに深まる取り組みが必要です。</p> <p>② すでにスタートしている地域の成功事例に学び、成美地区にとって必要な取り組みを精査し実践する事が重要です。</p> <p>③ 幅広い世代間の交流や地域に愛着と誇りをもてる事業を企画し実践する事が重要です。</p> <p>④ 成美地区の素晴らしい人材と産物、場所などを今以上に活用し、その魅力を発信していくことが必要です。</p>								
	<p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>①② 公民館運営協議委員会で先進地視察や地域住民を対象に防災講習などセンター化を見据えた事業を行いました。</p> <p>③ 従来の事業だけでなく、ばんげまつりなど新しい企画も積極的に行いました。また、運動会や公民館祭などをできるかたちで開催し、地域住民の交流を昨年以上に盛り上げました。船上小5年生との交流活動も行いました。</p> <p>④ 公民館だよりを充実させ、情報発信に力をいれました。また、地域の人材を講師として事業を行ったり、地域の産物の魅力が感じられるような事業を企画したりして成美の元気と魅力を発信しました。</p>								

	<p>【担当課による評価の理由】 まちづくりセンター化に向けて、区長会や公民館運営協議委員会等で地区住民の意見を聞きながら組織の設立を目指し研修や意見交換会を行いました。まちづくりセンター化に向けた動きがとれつつあります。</p>
<p>今後の 取り組み の 方向</p>	<p>① 引き続き、成美地区にとって必要な取組を企画し実践していくことが必要です。 ② 住民主体の公民館運営に向けて、組織等運営体制を検討していきます。</p>

令和 4 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	677	事業名	以西地区 公民館事業			会計区分	一般会計		
担当課	社会教育課			担当係	生涯学習係		事業区分	□新規 ■継続	
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	2	公民館費
まちづくりビジョン	②子ども大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				⑤大人に対する学びの環境づくり				
	重点項目	ふるさとへの愛着を深める、地域に根差した体験と学びの展開							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和4年度	1,310	939	0	0	78	0	861	公民館使用料	
令和4年度(明許)	0	0	0	0	0	0	0		
事業目的	以西地区内、各自治会と連携した教育・学習事業の展開を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高め合うような環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興、地域課題の解決等を図ります。								
事業の 主な 実施状況	<p>社会教育法並びに琴浦町公民館条例の規定に基づき以西地区公民館を設置、館長・主事を配置し、各種教育事業展開を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高め得るような環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興等を図りました。</p> <p>また、まちづくりセンター化に向けて住民と協議を重ねました。</p> <p>【以西地区公民館開催事業・講座状況】 年間開催回数: 41回、のべ1,004人 スマホ勉強会、竹の子掘り体験会、ゴルフ大会、ほたるウォーク、星を観る会など</p> <p>【まちづくりセンター化に向けた取り組み】 公民館運営協議会と以西地区振興協議会の合同会などによりまちづくりセンター化説明・協議を行いました。 開催回数: 9回 のべ参加人数123人</p>								
	 9月18日 以西軽トラ市	 4月18日 スマホ勉強会							
	担当課による評価				S 目的達成				
事業目的の 達成状況	<p>【前年度の課題の概要】 ① 今後も、幅広い年齢層が活動しやすい公民館づくりを進める必要があります。引き続き以西地区振興協議会との連携を図りながら取り組みを進めていきたいと考えます。</p>								
	<p>【前年度課題についての対応及び成果】 ① 以西地区振興協議会と協力・連携しながら事業を実施しました。 また、振興協議会と公民館の組織体制について協議を重ね、次年度に新体制を確立することができるよう取り組むことができました。</p> <p>【担当課による評価の理由】 公民館と以西地区振興協議会が連携を図りながら事業を展開することができました。また、組織の一本化についても協議を重ね、次年度を目途として進めることができました。</p>								
今後の 取り組みの 方向	令和5年度に「以西地区振興協議会」として新たに組織を設立し、まちづくりセンター化モデル事業に取り組み、より地域の課題やニーズに応じた事業の展開や住民主体での地域運営を推進します。								

令和 4 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	678	事業名	八橋地区公民館事業			会計区分	一般会計		
担当課	社会教育課			担当係	生涯学習係	事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	2	公民館費
まちづくりビジョン	②子ども大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				⑤大人に対する学びの環境づくり				
	重点項目	ふるさとへの愛着を深める、地域に根差した体験と学びの展開							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和4年度	1,616	1,521	0	0	0	0	1,521		
令和4年度(明許)	0	0	0	0	0	0	0		
事業目的	八橋地区内、各自治会と連携した教育・学習事業の展開を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高め合うような環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興、地域課題の解決等を図ります。								
事業の 主な 実施状況	<p>社会教育法並びに琴浦町公民館条例の規定に基づき八橋地区公民館を設置、館長・主事を配置し、各種教育事業展開を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高め得るような環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興等を図りました。</p> <p>【八橋地区公民館開催事業・講座状況】 開催回数40回 参加者数 のべ855人 八橋ぶらりウォーキング、トールペイント教室、スマホ教室、ヨガ教室、パーパークイリング教室など</p>								
	 10月2日 八橋ぶらりウォーキング	 10月29日 トールペイント教室							
	担当課による評価			B 進展が大きくない					
事業目的 の 達成状況	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>① コロナ対策をとりながら、住民のみなさんが安心・安全に参加できるよう取り組みが必要です。 ② 幅広い年齢層の利用を促進し、若者が参加できる環境づくりが課題です。</p>								
	<p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>① コロナウイルス拡大により、スポーツイベントや大きな事業は中止となりましたが、感染対策を講じながら事業を開催しました。運動会をウォーキングに変え、八橋のまちをめぐる新たな発見もあり大変好評でした。</p> <p>【担当課による評価の理由】</p> <p>感染症対策を講じながら、できる方法、規模などを工夫し事業実施しました。 サークル活動は活発に活動がされているので、継続していけるよう環境整備に努めています。</p>								
今後の 取り組み の 方向	<p>① コロナ以前のように、公民館事業(規模、頻度)を実施していきます。 ② 地域住民のニーズや地域課題に応じた事業を企画するとともに、住民参加型の運営体制を検討していきます。</p>								

令和 4 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	679	事業名	浦安地区公民館事業		会計区分	一般会計			
担当課	社会教育課		担当係	生涯学習係	事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続			
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	2	公民館費
まちづくりビジョン	②子ども大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり			⑤大人に対する学びの環境づくり					
	重点項目	ふるさとへの愛着を深める、地域に根差した体験と学びの展開							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和4年度	2,776	2,709	0	0	488	0	2,221	公民館使用料	
令和4年度(明許)	0	0	0	0	0	0	0		
事業目的	浦安地区内の各自治会と連携した地域密着型の教育・学習事業を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高めあうような環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興、地域課題の解決等を図ります。								
	社会教育法並びに琴浦町公民館条例の規定に基づき浦安地区公民館を設置、館長・主事を配置し、各種教育事業展開を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高め得るような環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興等を図りました。								
	【浦安地区公民館開催事業・講座状況】 開催回数 15回、参加者数 のべ 470人 そば打ち体験教室、健康マージャン教室、男の料理教室など								
									
	12月8日、2月28日 そば打ち体験教室								
									
	10月～3月(月1回) 健康マージャン教室								
									
	2月10日 感星コトウラ学校給食試食会								
	担当課による評価				B 進展が大きくない				
事業目的の達成状況	【前年度の課題の概要】 ① 感染症の拡大により多くの公民館事業の中止が度重なることで、住民の地域活動への関心や連帯意識の低下が顕著です。地域住民が意欲的に公民館事業に関わるような取組が必要です。 ② 現社会福祉協議会施設への移転について、工事期間中に活動が停滞しないよう利用団体との調整や使用ルールを検討する必要があります。								
	【前年度課題についての対応及び成果】 ① 中止した事業もありましたが、代わりになる事業を実施するなど、コロナ禍であっても、滞らないよう努めました。 ② 工事期間中はまなびタウンとうはくや旧浦安地区公民館を代替施設にするなど、調整を図りました。								
	【担当課による評価の理由】 コロナ禍で令和3年度は大幅に事業縮小しましたが、令和4年度は感染症対策を講じながら積極的に実施しました。地域住民の交流拠点としての役割を担うことができました。								
今後の取り組みの方向	① 地域の人が集う場所を目指した事業展開を進めることが必要です。 ② 地域住民のニーズや地域課題に応じた事業を企画するとともに、住民参加型の運営体制を検討していきます。								

令和 4 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	680	事業名	下郷地区公民館事業			会計区分	一般会計	
担当課	社会教育課			担当係	生涯学習係		事業区分	□新規 ■継続
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	2 公民館費
まちづくりビジョン	②子ども大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり			⑤大人に対する学びの環境づくり				
	重点項目	ふるさとへの愛着を深める、地域に根差した体験と学びの展開						
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源	
令和4年度	1,041	918	0	0	0	0	918	
令和4年度(明許)	0	0	0	0	0	0	0	
事業目的	下郷地区内各自治会と連携した教育・学習事業の展開を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高めあうような環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興、地域課題の解決等を図ります。							
事業の 主な 実施状況	<p>社会教育法並びに琴浦町公民館条例の規定に基づき下郷地区公民館を設置、館長・主事を配置し、各種教育事業展開を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高め得るような環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興等を図りました。</p> <p>【下郷地区公民館開催事業・講座状況】 開催回数 24回、参加者数のべ 662人 健康麻雀教室、公民館まつり、てぬぐいツリー教室、下郷地区まちの保健室など</p>							
	 7月～(月1回) 健康麻雀教室	 10月27日 てぬぐいツリー教室						
 8月～12月 下郷地区まちの保健室	 10月30日 公民館まつり							
事業目的の 達成状況	担当課による評価				B 進展が大きくない			
	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>① ウイズコロナ社会への対応、感染予防対策を適切に講じつつ公民館事業にしっかりと取り組んで進めていき、地域住民の居場所づくりに繋げていくことが必要です。</p> <p>② 地域住民が一体となり地域防災に関心を持ち、安心・安全なまちづくりへの意識向上を目指すことが必要です。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>① ウイズコロナ社会への対応、感染予防対策を適切に講じ公民館事業に取り組みました。地域住民の居場所づくりに繋げる事業も開催できました。</p> <p>② 地域住民が一体となり地域防災に関心を持ち、安心・安全なまちづくりへの意識向上を目指す講座を区長会を対象に開催することができました。</p> <p>【担当課による評価の理由】</p> <p>コロナ禍で開催中止が続いていた公民館まつりの開催等、感染症対策を講じながら事業を実施しました。地域課題の解決のために、地域の中で自分ごととして意識してもらい、連携や協働を行っていくことが必要だと考えます。</p>							
今後の 取り組み の 方向	<p>① 新型コロナウイルス感染症が5類感染症に変更になり、コロナ禍前のように公民館事業にしっかりと取り組み、地域住民の居場所づくりに繋がる事業を進めていくことが必要です。</p> <p>② 地域住民のニーズや地域課題に応じた事業を企画するとともに、住民参加型の運営体制を検討していきます。</p> <p>③ 地域住民が一体となり地域防災に関心を持ち、引き続き安心・安全なまちづくりへの意識向上を目指すことが必要です。</p>							

令和 4 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	681	事業名	上郷地区公民館事業			会計区分	一般会計	
担当課	社会教育課		担当係	生涯学習係		事業区分	□新規 ■継続	
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	2
まちづくりビジョン	②子ども大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり			⑤大人に対する学びの環境づくり				
重点項目	ふるさとへの愛着を深める、地域に根差した体験と学びの展開							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源	
令和4年度	1,641	1,615	0	0	0	0	1,615	
令和4年度(明許)	0	0	0	0	0	0	0	
事業目的	上郷地区内各自治会と連携した教育・学習事業の展開を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高めあうような環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興、地域課題の解決等を図ります。							
事業の 主な 実施状況	<p>社会教育法並びに琴浦町公民館条例の規定に基づき上郷地区公民館を設置、館長・主事を配置し、各種教育事業展開を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高め得るような環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興等を図りました。</p> <p>【上郷地区公民館開催事業・講座状況】 開催回数 72回 参加者数 のべ 1,508人 お花の標本箱作り、クリスマスドーム教室、健康サロン、スマホ講座など</p>							
								
	担当課による評価			B 進展が大きくない				
事業目的の 達成状況	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>① 新型コロナウイルス感染対策を考慮しながらの事業展開が必要です。</p> <p>② 住民の防災意識の向上を図り、安心・安全な住み良い地域づくりにするための研修が必要です。 (合同防災訓練の実施)</p> <p>③ 世代交流を図りながら、より地域の活性化に繋がる事業展開に取り組めます。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>① 新型コロナウイルス感染対策を講じながら可能な範囲で事業数を増やししながら開催しました。</p> <p>② 各部落で危険箇所の把握、避難ルートの確認などの共通理解に努めました。</p> <p>③ サークル活動がいくつか増え、年齢性別問わず世代交流を図りました。</p> <p>【担当課による評価の理由】</p> <p>新型コロナウイルス感染対策を講じながらも事業数を増やしたり、サークル活動も増え、多世代間での交流の場の提供ができました。物作りや楽しむことだけでなく、今後も生活に活かすことが内容の研修にも取り組む必要があります。</p>							
今後の 取り組み の 方向	<p>① いつ災害が起こってもおかしくない世の中、引き続き住民の防災意識の向上を図り、安心・安全な住み良い地域づくりにする為の研修を開催します。(下郷地区共催)</p> <p>② 幅広い年代の方に気軽に参加してもらえる事業展開(事業の変化・成長)に努めます。</p>							

令和 4 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	682	事業名	古布庄地区公民館事業			会計区分	一般会計		
担当課	社会教育課			担当係	生涯学習係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	2	公民館費
まちづくりビジョン	②子ども大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				⑤大人に対する学びの環境づくり				
	重点項目	ふるさとへの愛着を深める、地域に根差した体験と学びの展開							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和4年度	2,794	2,468	0	0	0	0	2,468		
令和4年度(明許)	0	0	0	0	0	0	0		
事業目的	社会教育法並びに琴浦町公民館条例の規定に基づき古布庄地区公民館を設置し、適正な管理・運営を行います。								
事業の 主な 実施状況	<p>① 古布庄地区公民館駐車場に街灯を4基設置し、施設利用環境の改善を行いました。 ※令和4年度の事業については、企画費「まちづくりセンターモデル事業」で実施</p> <p style="text-align: center;">外灯新設4基 1,617千円</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>								
事業目的 の 達成状況	担当課による評価								
	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p style="text-align: center;">※課題・対応・評価については、企画費「まちづくりセンターモデル事業」に記載。</p>								
	<p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>【担当課による評価の理由】</p>								
今後の 取り組み の 方向	安心・安全に住民活動ができるよう、適切な施設管理を行います。								

令和 4 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	321	事業名	町内文化財保護事業			会計区分	一般会計																			
担当課	社会教育課			担当係	学芸文化係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続																		
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	3	文化財保護費																	
まちづくりビジョン	②子ども大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				⑥歴史文化資源の活用と継承																					
	重点項目	ふるさとへの愛着を深める、地域に根差した体験と学びの展開																								
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)																		
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																			
令和4年度	7,053	5,851	56	0	647	200	4,948	市町村創生交付金647千円 過疎対策事業債200千円																		
令和4年度(明許)	0	0	0	0	0	0	0																			
事業目的	町内の文化財を後世に継承するため文化財の保存・保護及び活用、公開を行い、優れた郷土の歴史や文化を理解していただくことで郷土愛の醸成に資します。																									
事業の 主な 実施状況	① 町内文化財保存・保護、活用に係る取組として以下の事業を実施しました。 ・文化財保護審議会 2回 32千円 ・町内文化財巡視 年26回 120千円 ・特別史跡齋尾廃寺跡出土遺跡調査 288千円 ・町内文化財管理(町有地草刈、管理委託等) 4,262千円 ・その他消耗品等 304千円																									
	② 町内文化財の保存・活用に係る事業に対し、以下の補助金を交付しました。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">補助金の名称</th> <th style="width: 20%;">金額(円)</th> <th style="width: 40%;">交付対象</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>文化財建物公開・活用促進事業</td> <td>500,000円</td> <td>河本家保存会</td> </tr> <tr> <td>文化財保存保護・活用事業補助金</td> <td>121,000円</td> <td>倉阪神社</td> </tr> <tr> <td>文化財保存保護・活用事業補助金</td> <td>80,000円</td> <td>神崎神社</td> </tr> <tr> <td>文化財保存保護・活用事業補助金</td> <td>104,000円</td> <td>湯谷山 転法輪寺</td> </tr> <tr> <td>無形文化財補助金</td> <td>40,000円</td> <td>逢東盆踊り保存会・以西踊り保存会</td> </tr> </tbody> </table>									補助金の名称	金額(円)	交付対象	文化財建物公開・活用促進事業	500,000円	河本家保存会	文化財保存保護・活用事業補助金	121,000円	倉阪神社	文化財保存保護・活用事業補助金	80,000円	神崎神社	文化財保存保護・活用事業補助金	104,000円	湯谷山 転法輪寺	無形文化財補助金	40,000円
補助金の名称	金額(円)	交付対象																								
文化財建物公開・活用促進事業	500,000円	河本家保存会																								
文化財保存保護・活用事業補助金	121,000円	倉阪神社																								
文化財保存保護・活用事業補助金	80,000円	神崎神社																								
文化財保存保護・活用事業補助金	104,000円	湯谷山 転法輪寺																								
無形文化財補助金	40,000円	逢東盆踊り保存会・以西踊り保存会																								
事業目的の 達成状況	担当課による評価				B 進展が大きくない																					
	【前年度の課題の概要】 ① 経年劣化が認められる町内文化財があることから、所有者等とも連携し、文化財巡視の強化や調査など文化財の状況把握、対処、管理を適切に行う必要があります。 ② 民俗文化財の保存団体や文化財活用団体の活動については、継続的な活動の周知や地域の方々の参加など、後継者育成に係る活動や活動機会の提供、活動拠点の環境整備などの支援が必要です。 ③ 町内文化財保護の取組と併せ、情報発信などの活用事業を進めていきます。																									
事業目的の 達成状況	【前年度課題についての対応及び成果】 ① 経年劣化や災害により毀損した文化財の保存修理を実施しました。また、巡視等の強化により災害による毀損文化財の対処なども迅速に対応できました。今後も所有者等と連携し、文化財巡視の強化や調査など文化財の状況把握、対処、管理を適切に行う必要があります。 ② 町内で行われた芸能祭への参加など発表機会の提供ができました。 ③ 国特別史跡齋尾廃寺跡の発掘調査説明会のほか、地元団体が史跡の理解を深めるために開催する研修会の講師を行うなど情報発信、普及啓発に努めました。																									
	【担当課による評価の理由】 文化財巡視員の定期点検のほか、強風時等での職員による巡視など回数を増やしたため、災害による毀損文化財の対処なども迅速に対応できました。 文化財の情報発信、普及啓発は体制が整わず一部の文化財にとどまりました。																									
今後の 取り組み の 方向	人口減、高齢化等により、一部の地域で、これまで地域で取り組まれてきた文化財の保護活動に課題が生じてきています。今後の支援のあり方(拡充)など検討したいと思えます。																									

令和 4 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	322	事業名	文化財活用啓発事業(文化財センター)		会計区分	一般会計			
担当課	社会教育課		担当係	学芸文化係	事業区分	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 継続		
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	3	文化財保護費
まちづくりビジョン	②子ども大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり			⑥歴史文化資源の活用と継承					
	重点項目	ふるさとへの愛着を深める、地域に根差した体験と学びの展開							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和4年度	83	75	0	0	0	0	75		
令和4年度(明許)	0	0	0	0	0	0	0		
事業目的	地域郷土の歴史、民俗等に関する資料を収集保管、展示、活用し町民の利用に供し、地域社会の文化向上を図るとともに、文化財保護の活動拠点として活用します。								
事業の 主な 実施状況	<p>① 古布庄小学校で保管している民俗資料について、収蔵室に収まらず廊下、階段等に仮置きしていた一部の資料について、保管用コンテナによる整理作業を行いました(収蔵室への保管は令和5年度予定)。 また、民俗資料調書に基づき、著しい破損のため復元・修理ができない資料、現在も流通している現代資料など文化財として価値付けが困難な資料についても、一部整理作業を行いました。</p>								
									
									
	担当課による評価				B 進展が大きくない				
事業目的の 達成状況	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>① 作成した民俗資料収集方針(案)について、文化財保護審議会、県などの指導を受け、方針を定める必要があります。</p> <p>② 収集方針に基づいた資料の収集、保管を進めていく必要があります。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>① 作成した民俗資料収集方針(案)について、体制が整わず方針決定には至りませんでした。</p> <p>② 著しい破損資料、文化財的価値付けが困難な資料、収蔵室に保管できていなかった資料の整理を行いました。</p> <p>【担当課による評価の理由】</p> <p>民俗資料の整理、調査を進める体制が整わず、一部の整理作業しかできませんでした。</p>								
今後の 取り組み の 方向	収蔵資料の調査を行い、文化財的価値付けが困難な資料などの整理を進めます。								

令和 4 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	323	事業名	民俗資料館管理			会計区分	一般会計		
担当課	社会教育課			担当係	学芸文化係	事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	3	文化財保護費
まちづくりビジョン	②子ども大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				⑥歴史文化資源の活用と継承				
	重点項目	ふるさとへの愛着を深める、地域に根差した体験と学びの展開							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和4年度	136	116	0	0	0	0	116		
令和4年度(明許)	0	0	0	0	0	0	0		
事業目的	民俗資料や埋蔵文化財資料等をとおして文化財の大切さを周知し、後世に伝えます。								
事業の 主な 実施状況	① 資料館見学のガイダンスや資料貸出などを行いました。 来館者60人以上								
	 <p style="text-align: center;">昔の道具とくらしの展示</p>				 <p style="text-align: center;">昔の道具とくらしの展示</p>				
事業目的 の 達成状況	担当課による評価				B 進展が大きくない				
	【前年度の課題の概要】 ① 小学生の学習に合わせた資料展示のあり方、内容等の検討が必要です。								
	【前年度課題についての対応及び成果】 ① 古布庄小学校保管の民俗資料整理も芳しくなく、展示物の内容の変更はできませんでした。								
今後の 取り組み の 方向	【担当課による評価の理由】 令和4年度はコロナウィルスの影響のほか、展示室雨漏り修繕工事などと重なり、小学校の見学、体験の受け入れができませんでした。								
	引き続き小学生の学習「昔の道具とくらし」に合わせた資料展示のあり方、内容等の検討をします。								

令和 4 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	324	事業名	町内遺跡発掘調査事業			会計区分	一般会計		
担当課	社会教育課			担当係	学芸文化係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	4	埋蔵文化財発掘調査費
まちづくりビジョン	②子ども大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				⑥歴史文化資源の活用と継承				
	重点項目	ふるさとへの愛着を深める、地域に根差した体験と学びの展開							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和4年度	4,234	2,699	1,357	679				663	
令和4年度(明許)									
事業目的	町内埋蔵文化財の保存と活用。 史跡現況の確認と今後の史跡整備に向けた情報収集のため、国特別史跡齋尾廃寺跡の発掘調査を実施します。								
事業の 主な 実施状況	① 史跡現況の確認と今後の史跡整備に向けた情報収集のため、国特別史跡齋尾廃寺跡の発掘調査を実施しました。 遺跡名：特別史跡齋尾廃寺跡 時代：古代 目的：史跡の保護と整備 調査期間：令和4年8月30日～12月15日 調査面積：250.46㎡								
	 <p style="text-align: center;">齋尾廃寺跡南辺の区画溝</p>			 <p style="text-align: center;">齋尾廃寺跡区画溝南西隅(確認のみ)</p>					
② 町内開発事業に伴う試掘調査を実施しました。 遺跡名：大石所在遺跡 調査原因：県道船上山赤碕線(大石工区)改良工事 調査期間：令和4年12月19日～令和5年1月20日 調査面積：30.05㎡									
 <p style="text-align: center;">大石所在遺跡試掘調査状況</p>			 <p style="text-align: center;">大石所在遺跡試掘調査状況</p>						
担当課による評価			B 進展が大きくない						
事業目的の 達成状況	【前年度の課題の概要】 特別史跡齋尾廃寺跡について、町内外へ情報発信、普及啓発が不十分であったため、再調査で得られた情報を積極的に発信していきます。								
	【前年度課題についての対応及び成果】 特別史跡齋尾廃寺跡の発掘調査成果について、説明会を実施しました。また、地元団体の依頼に応じて現地見学会を開催しました。 ① 史跡整備に向けた情報を予定通りに得ることができませんでした。 ② 試掘調査の結果を基に適切に開発事業と文化財保護との調整が図れました。								
今後の 取り組み の 方向	【担当課による評価の理由】 特別史跡齋尾廃寺跡発掘調査では、天候不順や掘削度量が想定より多かったことから、予定していた調査区の数調査することができなかつたため、史跡整備に向けた情報を得ることができませんでした。								
	特別史跡齋尾廃寺跡について、町内外へ更なる情報発信、普及啓発のため、発掘作業を随時公開し、ホームページ等で進捗状況を適時発信していきます。								

令和 4 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	325	事業名	生涯学習センター管理費			会計区分	一般会計																																																				
担当課	社会教育課			担当係	生涯学習係		事業区分	□新規 ■継続																																																			
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	5	生涯学習センター運営																																																		
まちづくりビジョン	②子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				⑤大人に対する学びの環境づくり																																																						
	重点項目	ふるさとへの愛着を深める、地域に根差した体験と学びの展開																																																									
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)																																																			
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																																																				
令和4年度	37,282	34,525	0	0	2,988	0	31,537	使用料 2,533千円 駐車場使用料 422千円 コピー代 33千円																																																			
令和4年度(明許)	0	0	0	0	0	0	0																																																				
事業目的	子どもから高齢者までのすべての町民の生涯にわたる学びと交流の場となるよう、生涯学習センターの管理運営を適切に行います。																																																										
事業の 主な 実施状況	<p>① 生涯学習センターの管理運営を行い、町民等の生涯学習振興を図りました。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="3">利用件数(件)</th> <th colspan="3">利用者数(人)</th> <th rowspan="2">使用料(円)</th> </tr> <tr> <th>町内</th> <th>町外</th> <th>合計</th> <th>町内</th> <th>町外</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>995</td> <td>333</td> <td>1,328</td> <td>18,605</td> <td>8,207</td> <td>26,812</td> <td>2,848,145</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>1,152</td> <td>268</td> <td>1,420</td> <td>19,116</td> <td>5,424</td> <td>24,540</td> <td>2,136,602</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>1,186</td> <td>271</td> <td>1,457</td> <td>16,879</td> <td>6,418</td> <td>23,297</td> <td>2,533,205</td> </tr> </tbody> </table> <p>② トイレ手洗い水栓修繕、駅南駐車場区画線補修等、施設利用環境の維持に努めました。</p> <table style="width: 100%; margin: 10px 0;"> <tr> <td style="width: 70%;">トイレ手洗い水栓取替</td> <td style="text-align: right;">344千円</td> </tr> <tr> <td>駅南駐車場区画線補修</td> <td style="text-align: right;">411千円</td> </tr> <tr> <td>その他修繕</td> <td style="text-align: right;">967千円</td> </tr> </table> <p>③ 施設の保守点検や清掃等を行い、環境整備に努めました。</p> <table style="width: 100%; margin: 10px 0;"> <tr> <td style="width: 70%;">清掃委託</td> <td style="text-align: right;">4,408千円</td> </tr> <tr> <td>警備委託</td> <td style="text-align: right;">3,644千円</td> </tr> <tr> <td>空調設備等保守委託</td> <td style="text-align: right;">2,024千円</td> </tr> </table> <div style="text-align: right; margin-top: 20px;">  </div>									項目	利用件数(件)			利用者数(人)			使用料(円)	町内	町外	合計	町内	町外	合計	令和2年度	995	333	1,328	18,605	8,207	26,812	2,848,145	令和3年度	1,152	268	1,420	19,116	5,424	24,540	2,136,602	令和4年度	1,186	271	1,457	16,879	6,418	23,297	2,533,205	トイレ手洗い水栓取替	344千円	駅南駐車場区画線補修	411千円	その他修繕	967千円	清掃委託	4,408千円	警備委託	3,644千円	空調設備等保守委託	2,024千円
項目	利用件数(件)			利用者数(人)			使用料(円)																																																				
	町内	町外	合計	町内	町外	合計																																																					
令和2年度	995	333	1,328	18,605	8,207	26,812	2,848,145																																																				
令和3年度	1,152	268	1,420	19,116	5,424	24,540	2,136,602																																																				
令和4年度	1,186	271	1,457	16,879	6,418	23,297	2,533,205																																																				
トイレ手洗い水栓取替	344千円																																																										
駅南駐車場区画線補修	411千円																																																										
その他修繕	967千円																																																										
清掃委託	4,408千円																																																										
警備委託	3,644千円																																																										
空調設備等保守委託	2,024千円																																																										
	担当課による評価				B 進展が大きくない																																																						
事業目的 の 達成状況	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>① 施設の適切な維持管理のほか、利用率向上に向け、必要な修繕工事の内容検討が必要です。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>① 利用に際しての、施設修繕は都度実施できました。</p> <p>【担当課による評価の理由】</p> <p>簡易な施設修繕については、年間を通して実施しましたが、空調やエレベーターなど老朽化によるセンター内部の設備等の修繕には取り掛かることができませんでした。</p>																																																										
今後の 取り組み の 方向	<p>安心・安全な公共施設の場を提供するために、老朽化の進んだ設備等については、計画的に修繕していく取り組みを検討します。</p> <p>現在のレイアウトを活かしながら、利用者のニーズに対応した施設となるよう環境整備を検討します。</p>																																																										

令和 4 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	329	事業名	図書館活動費			会計区分	一般会計		
担当課	社会教育課			担当係	図書館係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	6	図書館費
まちづくりビジョン	②子ども大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				②子どもたちが安心して遊び、学べる環境づくり				
	重点項目	ふるさとへの愛着を深める、地域に根差した体験と学びの展開							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和4年度	19,229	17,758			153		17,605	森林環境譲与税基金入金153千円	
令和4年度(明許)	0	0	0	0	0	0	0		
事業目的	図書資料の充実を図り、知の拠点として町民の「調べたい」「学びたい」を支えるとともに、町民の居場所、課題解決や生涯学習の場を提供します。また、小・中学校、こども園、公民館などと連携し、本に親しむ機会の提供や読書活動の推進を図ります。								
事業の主な実施状況	① 年間を通じて図書館利用を図りました。図書購入費 5,700千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 年間来館者数 49,501人 ・ 年間貸出者数(個人) 20,250人 ・ 年間貸出冊数 86,666冊 ・ 年間購入図書 2,960冊/視聴覚資料 51点 ・ まちなか図書館 4箇所(以西地区、安田地区、成美地区、古布庄森の楽園) ・ 団体貸出 22カ所 ② 子どもの読書推進として下記のとおり実施しました。ブックスタート等事業費 741千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ ブックスタート 6か月児：年6回 105人参加、3歳児：年7回 91人参加 ・ おはなし会(毎週土曜日)本館 82人参加、分館 22人参加 ・ 来館おはなし会 2回 30人参加 ・ 出前おはなし会 ことらこども園 2回(84人) 赤碓地区公民館 2回(20人) ・ 木のおもちゃ貸出 15種類(合計40セット) 139回利用 ③ 図書館利用促進として下記のとおり実施しました。イベント事業費 8千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ イベント 本館4回、分館4回 ・ 古文書講座 2回開催 22人参加 ・ 映画会 8回開催 23人参加 ・ 古本市 各館1回開催 ・ レファレンスサービス実施 本館：69件、分館：44件 ・ 毎月テーマを変えて展示を実施しました。 図書館内：8月「育てよう！夏のいきもの」、10月「男女共同参画週間関連展示」ほか 2階談話コーナー：9月「鳥取の民芸展示」、12月「一般募集による作品展示」ほか ④ まなびタウン内で気軽に読書できる環境を整備しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ICタグの導入により、まなびタウン内であれば、貸出し処理なしで本を持ち出すことができるようになりました。利用者カードを持っていない人でも、好きな場所で読書が楽しめます。 ・ 談話コーナーに本を展示し、閉館後も読書ができるようにしました。 ⑤ 利用しやすいするため、環境整備に努めました。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 除籍作業を行い、書架の整理をしました。 ・ LLブックや点字付き資料などを配架した「はーとふるコーナー」を新たに設置しました。 <div style="text-align: right;">  <p>「はーとふるコーナー」</p> </div>								
	担当課による評価				A 相当程度進展あり				
事業目的の達成状況	【前年度の課題の概要】 <ol style="list-style-type: none"> ① ICタグ導入・システム更新後の図書館サービスの展開と利用促進が必要です。 ② 除籍作業を継続し、未着手の書架についても整理を進める必要があります。また、案内表示等を見直し、利用しやすい環境に整える必要があります。 【前年度課題についての対応及び成果】 <ol style="list-style-type: none"> ① 図書館の外(まなタン館内)でも読書される利用者の姿が多く見られ、利用促進に繋がりました。 ② 除籍作業が進み、排架移動に取りかかることができました。また、新たに「はーとふるコーナー」を設置しました。まだ作業途中の場所もあるため、引き続き整理を進める必要があります。 【担当課による評価の理由】 図書館サービスの展開と利用促進については、読書環境を充実させ、利用促進を図ることができたものと判断しました。また、書架整理と環境整備については、一部が作業途中ではありますが、大部分が整理されたため、十分に整備されたものと判断し、A 相当程度進展ありと評価しました。								
今後の取り組みの方向	引き続き、書架整理と環境整備を進め、利用者のニーズに合わせて書架の拡張や内容の充実を図ります。感染症対策の制限緩和を考慮しながら、読書環境や行事の見直しを行い図書館の利用促進を図ります。令和5年度は、第3次子ども読書活動推進計画を策定します。								

令和 4 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	311	事業名	文化振興事業			会計区分	一般会計				
担当課	社会教育課			担当係	学芸文化係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続			
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	7	文化芸術振興費		
まちづくりビジョン	②子ども大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				⑦文化・芸術活動の振興						
	重点項目	ふるさとへの愛着を深める、地域に根差した体験と学びの展開									
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)			
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源				
令和4年度	2,544	1,696	0	100	800	0	796	ふるさと未来夢基金			
令和4年度(明許)	0	0	0	0	0	0	0				
事業目的	町内の文化芸術団体等を支援するほか、連携により、文化芸術活動の活性化を図るとともに、県内文化芸術振興団体等とも連携することにより、町民が文化芸術に親しむ機会の充実を行い、町内文化振興を図る。										
事業の 主な 実施状況	① 地域、学校への文化・芸術派遣事業 地域や学校へ体験講座や県内の文化・芸術家を派遣することで、子ども達への文化・芸術体験の機会設定につながりました。 文化・芸術家の派遣 1回 舞台機材体験 1回										
	② 補助金交付 467千円 地域文化活動団体が行う発表・鑑賞活動に対して補助金を交付し、文化活動振興を図りました。 文化芸術振興補助金 桂南光独演会(NPO法人花本美雄文化振興会) 文化芸術振興補助金 ふるさとを歌う会 アートスタート事業補助金 カンガルーのポケットコンサート(NPO法人花本美雄文化振興会) 響け！カウベル合唱団活動補助金 通年 4名										
	③ 鳥取県文化振興財団連携事業 鳥取県にゆかりのあるアーティストによる公演を実施しました。 1回 ※合唱フェスティバルと合同開催。 親子で楽しめる公演を実施しました。 1回										
	④ 文化芸術関係団体の発表活動支援 琴浦秋の芸能祭の開催支援 令和4年11月23日(水) 来場者114名 出演者138名(15団体) カウベル合唱フェスティバルの開催支援 令和4年11月13日(日) 来場者77名 出演者60名 琴浦町民文化祭の開催支援 令和4年10月28日～30日 来場者662名 24団体、8個人、7園、5校										
											
											
担当課による評価					S 目的達成						
事業目的 の 達成状況	【前年度の課題の概要】 ① 町内の文化芸術活動団体との一層の連携が必要になります。										
	【前年度課題についての対応及び成果】 ① 団体と連携し、芸能、合唱、展示とも発表活動機会を確保することができました。										

	<p>【担当課による評価の理由】 鳥取県文化振興財団と連携し、2公演開催しました。また、コロナ禍で中止していた合唱フェスティバルを3年ぶりに開催することができました。</p>
<p>今後の 取り組み の 方向</p>	<p>鳥取県文化振興財団と協定を結び、当財団によるアウトリーチな事業開催を進めます。 コロナ後の活動促進に向け、文化芸術団体の更なる活動支援を行います。</p>

令和 4 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1320	事業名	ことうら健康寿命延伸活動(社会教育課)			会計区分	一般会計		
担当課	社会教育課			担当係	社会体育係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	
予算区分	款	9	教育費	項	5	保健体育費	目	1	保健体育総務費
まちづくりビジョン	③誰もが生きがいをもち輝けるまちづくり				⑤ニュースポーツによる健康づくりの推進				
	重点項目	ふるさとへの愛着を深める、地域に根差した体験と学びの展開							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和4年度	248	84	0	56	0	0	28		
令和4年度(明許)	0	0	0	0	0	0	0		
事業目的	子どもが高齢者ボランティアやスタッフとの交流の中で創造的・積極的に外遊びを楽しみ、また健康遊具の活用などにより運動習慣定着を促すと共に、健康寿命延伸に寄与します。								
事業の 主な 実施状況	プレーパークどんぐり開催 [参加人数] 合計187人 毎月第4日曜日、コロナ感染予防をとりながら開催しました。		 <p style="text-align: center;">楽しそうに木登りする様子</p>						
	[活動内容] 自由遊び、木登り、鬼ごっこ、木工遊び、釘打ち、巨大シャボン玉、凧揚げ、スラックライン、ハンモックたき火、ジャム作り、マシュマロ焼き、チャンバラ、そり遊び、雪投げ、凧作り、凧あげなど								
	[スタッフ] プレーリーダー1名、高齢者ボランティア3名で活動しました。		 <p style="text-align: center;">高齢者ボランティアも一緒に遊びます</p>						
	 <p style="text-align: center;">参加者同士どンドン遊びが広がります</p>								
事業目的の 達成状況	担当課による評価				B 進展が大きくない				
	【前年度の課題の概要】 <ul style="list-style-type: none"> ・プレーリーダー、高齢者ボランティア、参加者によるプレーパークどんぐりの自主運営化が必要です。 ・人と触れ合ったり貴重な経験ができる場ですが、PRできていないためSNS等を活用したPRが必要です。 								
	【前年度課題についての対応及び成果】 <ul style="list-style-type: none"> ・職員が参加できない日にはプレーリーダーや高齢者ボランティアによる準備、運営、片付けが行われました。 ・PRは行政放送と学校を通じたちらし配布、TCCの取材、町報のみでした。 								
	【担当課による評価の理由】 <ul style="list-style-type: none"> ・雨や雪等の天候に関係なく年間を通じて活動ができましたが、スタッフや参加者の自主的な運営にはなりませんでした。 ・町公式LINE等のSNSでのPRができませんでした。 								
今後の 取り組み の 方向	<ul style="list-style-type: none"> ・プレーパークどんぐりの自主運営化やスタッフの人材確保が必要です。 ・SNS(町公式LINE、フェイスブック)やケーブルテレビなど様々なメディアを活用した積極的なPRが必要です。 								

令和 4 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1483	事業名	スポーツ・運動推進事業			会計区分	一般会計		
担当課	社会教育課			担当係	社会体育係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	
予算区分	款	9	教育費	項	5	保健体育費	目	2	体育振興費
まちづくりビジョン	③誰もが生きがいをもって輝けるまちづくり				③地域で取り組む町民一人ひとりの健康づくりと介護予防				
	重点項目	ふるさとへの愛着を深める、地域に根差した体験と学びの展開							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和4年度	10,803	8,045	0	0	8,002	0	43	トレーニングルーム使用料1,502千円 ふるさと未来夢基金6,500千円	
令和4年度(明許)	0	0	0	0	0	0	0		
事業目的	・スポーツ協会事業でスポーツに親しみ、町民の健康づくりにつなげます。全国大会等で優秀な成績を取られた方に対して表彰式を行い功績を讃え、今後の活力につなげます。 ・スポーツ少年団活動を通して、子ども達の体力の向上と健全育成を図ります。 ・コンディショニングコーディネーターや町民トレーナーによる総合体育館トレーニングルームの活用促進を図ります。 ・スポーツ推進委員との連携により町民の運動習慣の定着を図り、介護予防と健康寿命延伸に寄与します。								
事業の主な実施状況	① 琴浦町スポーツ協会 感染症対策を徹底したうえで大会・教室事業を展開し、健康づくり及び仲間づくりを奨励しました。 20大会・5教室 事業参加1,114人、体育協会表彰(表彰 64人) <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  スポーツ少年団結団式で団の紹介 </div> ② 琴浦町スポーツ少年団 16団体の活動支援を年間を通じて行い、競技力アップと健全育成に取り組めました。 登録人数 315人(前年比 9人減) <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  人気のストレッチ教室 </div> ③ 運動支援中核拠点から展開する健康づくり 谷川コンディショニングコーディネーターと町民トレーナーに加え、新たにフィットネストレーナーを配置し、トレーニングルーム指導、各種教室(体幹教室、ストレッチ教室講座)、スポーツ少年団等への実技指導を充実しました。 新たに購入したパワープレートの体験会を開催し、トレーニングルーム利用につなげました。 R4トレーニングルーム利用人数18,690人(前年比 767人増) <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  えんじょいスポーツで喜ぶ参加者 </div> ④ スポーツ推進委員による運動習慣の定着 ・体力測定会(4回100人) ・えんじょいスポーツ(5回 66人) 健康づくりと親子のふれあいの場の提供を行いました。 ・出張指導(7回)								
	担当課による評価				A 相当程度進展あり				
事業目的の達成状況	【前年度の課題の概要】 ① スポーツ協会に名称を変更したことにより、より幅広い年齢層、誰でも参加できる内容を検討します。 ② コンディショニングコーディネーター不在時の教室の指導体制の充実を図ることが必要です。 ③ スポーツ推進委員によるスポーツ推進の活動の場の設定と定着が必要です。 【前年度課題についての対応及び成果】 ① スポーツ協会に名称を変更しましたが、コロナ感染を取りながら事業を進めた部分もあるため、大きな内容の見直しはできませんでした。 ② コンディショニングコーディネーター不在時の対応として、スポーツ推進委員等へ依頼し、教室を休みにすることなく継続実施することができました。 ③ スポーツ推進委員による児童クラブなどへの指導の場が広がりました。 【担当課による評価の理由】 コロナウイルス感染対策を取りながら大会や教室などを再開したり、トレーニングルームの新たな利用者を増やすために体験会を開催して利用者の増加に繋がりました。スポーツ協会の事業への参加者が減少傾向にあるため立て直しが必要です。								
今後の取り組みの方向	トレーニングルームや体幹教室を活用して働き盛り世代の健康作りを進める必要があります。令和5年度はスポーツ推進委員を中心として障がい者や健康者が一緒に運動できるポッチャを普及し、令和6年度に交流大会を開催できるように努めます。								

令和 4 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	68	事業名	社会福祉総務費			会計区分	一般会計		
担当課	人権・同和教育課			担当係	人権教育推進係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	
予算区分	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	1	社会福祉総務費
まちづくりビジョン	①新しいひとの流れをつくりだす共生のまちづくり				④支え合いと共生のまちづくり				
	重点項目	情報発信と対話で築く、みんなが関わる協働のまちづくり							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和4年度	1,800	1,561	0	70	0	0	1,491		
令和4年度(明許)	0	0	0	0	0	0	0		
事業目的	町内の人権擁護、啓発等に携わる人権擁護委員、保護司、更正保護女性会の活動に対し助成及び支援を行い、人権尊重のまちづくりの実現を目指します。								
事業の 主な 実施状況	<p>1 人権擁護、啓発等の活動に要した経費 1,561千円 (・報酬 510千円 ・需用費 86千円 ・負担金ほか 965千円)</p> <p>【人権擁護委員との活動】</p> <p>(1) 地域で人権相談所を開設しました。 ・各地区公民館 合計 23回</p> <p>(2) 人権擁護委員の日(6月1日)に人権擁護委員の活動の周知と、人権尊重の大切さについて啓発活動を行いました。 ・町内小中学校、琴の浦高等特別支援学校訪問 ・アパート入り口での街頭啓発活動</p> <p>(3) 小学生が、植物を育てることを通して生命の尊さを実感し思いやりの心を育てるため、町内5校に花の苗を贈呈し「人権の花」運動を実施しました。(10月実施)</p> <p>(4) 人権週間期間中(12月9日)にしらとりこども園、ことうらこども園及びアパート入り口で啓発活動を行いました。</p> <p>【保護司、更正保護女性会等との活動】</p> <p>(1) 犯罪や非行のない安全で安心な明るい地域社会に向け、「社会を明るくする運動」を推進しました。 (7月の強調月間の取り組み) ・町行政放送を用いた町長の呼びかけ、庁舎への懸垂幕の掲揚。 ・出発式及び広報車による啓発、のぼり旗の設置。 ・中学校でのあいさつによる声かけ運動の実施。(愛の一声運動)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>〈人権の花運動〉</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>〈人権擁護委員の日〉</p> </div> </div>								
	担当課による評価				B 進展が大きくない				
事業目的の 達成状況	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>① 「人権の花」運動を全小学校で実施し、児童への人権意識の啓発を継続します。</p> <p>② 人権擁護委員、保護司、更正保護女性会の活動について支援を行い、人権尊重のまちづくりを推進します。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>① 「人権の花」運動を全小学校で実施し、花を育てることで、子どもたちの「命を大切にできる心」を育みました。</p> <p>② 「人権擁護委員の日」、「人権週間」、「人権相談所」など人権擁護委員の活動を支援し、町内の人権啓発を推進しました。</p> <p>③ 保護司、更正保護女性会等の団体と協力し「社会を明るくする運動」を推進することで、町内の犯罪や非行の防止、立ち直りを支える気運を高めました。</p> <p>【担当課による評価の理由】</p> <p>コロナ禍で行動が制限される中、感染症対策を行いながら啓発活動を実施しました。</p>								
今後の 取り組み の 方向	今年度は中止した事業所等への訪問を再開し、より広く啓発を行っていきます。								

令和 4 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	569	事業名	同和对策総務費			会計区分	一般会計								
担当課	人権・同和教育課			担当係	人権教育推進係		事業区分	□新規 ■継続							
予算区分	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	3	同和对策総務費						
まちづくりビジョン	①新しいひとの流れをつくりだす共生のまちづくり				④支え合いと共生のまちづくり										
	重点項目	情報発信と対話で築く、みんなが関わる協働のまちづくり													
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)							
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源								
令和4年度	1,122	678	0	0	0	0	678								
令和4年度(明許)	0	0	0	0	0	0	0								
事業目的	あらゆる人権問題のすみやかな解決を図るために体制整備を行います。														
事業の 主な 実施状況	<p>1 差別事象に係る検討会議 町内で発生した差別事象についてその背景や要因を協議し、再発防止に向けた対応策を検討しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催回数 2回 (12月、3月) ・委員報償費 36千円 ・需用費 18千円 <p>2 関係機関へ負担金、補助金を交付しました。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 80%;">内 容</th> <th style="width: 20%;">金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東伯郡同和对策協議会負担金</td> <td style="text-align: right;">53 千円</td> </tr> <tr> <td>部落解放同盟琴浦町協議会補助金</td> <td style="text-align: right;">571 千円</td> </tr> </tbody> </table>									内 容	金 額	東伯郡同和对策協議会負担金	53 千円	部落解放同盟琴浦町協議会補助金	571 千円
	内 容	金 額													
東伯郡同和对策協議会負担金	53 千円														
部落解放同盟琴浦町協議会補助金	571 千円														
	担当課による評価				B 進展が大きくない										
事業目的 の 達成状況	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>① 様々な人権問題の解決に向けて、就学前、学校、地域での継続した教育・啓発を関係課が連携して行っていく必要があります。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>① 就学前、学校、地域での継続した人権教育・啓発を関係課が連携して行えるよう、人権施策実施計画の策定に取り組みました。</p> <p>【担当課による評価の理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・差別事象の解決に向け、来年度も継続して取組みを行う必要があります。 ・個別の団体に対する補助金について見直しを行います。 														
	今後の 取り組み の 方向	<ul style="list-style-type: none"> ・差別事象について検討会議を開催し、具体的な取組みを実施していきます。 ・部落解放同盟琴浦町協議会への補助金について、町全体での取組みとして研修や学習活動が他の団体と一体となって行えるよう見直しを行います。 													

令和 4 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	570	事業名	東伯隣保館運営費			会計区分	一般会計																																				
担当課	人権・同和教育課			担当係	人権教育推進係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続																																			
予算区分	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	4	隣保館運営費																																		
まちづくりビジョン	①新しいひとの流れをつくりだす共生のまちづくり				④支え合いと共生のまちづくり																																						
	重点項目	情報発信と対話で築く、みんなが関わる協働のまちづくり																																									
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)																																			
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																																				
令和4年度	2,700	2,287	0	1,603	11	0	673	文化センター使用料 11千円																																			
令和4年度(明許)	0	0	0	0	0	0	0																																				
事業目的	地域福祉の向上、人権啓発のための住民交流の拠点、そして住民の身近な相談窓口としての役割を担い、人権課題の解決のための各種事業を総合的にを行います。																																										
事業の 主な 実施状況	1 東伯隣保館運営事業費 2,287千円 (・報償費 509千円 ・需用費1,096千円 ・委託料 58千円 ・使用料及び賃借料ほか 624千円) 福祉の向上及び人権啓発の住民交流の拠点として、地域住民の生活相談並びにあらゆる差別を解決するための研修会等各種啓発活動を実施しました。																																										
	(1) 審議会の開催状況 <table border="1" style="margin-left: 20px; width: 100%;"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>回数</th> <th>委員数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東伯文化センター運営審議会</td> <td>年2回</td> <td>委員12人</td> </tr> </tbody> </table>			事業名	回数	委員数	東伯文化センター運営審議会	年2回	委員12人							(2) 年間利用人数 延べ 7,013人																											
事業名	回数	委員数																																									
東伯文化センター運営審議会	年2回	委員12人																																									
(3) 各種事業の実施 啓発・広報活動事業、地域交流事業、地域福祉事業を実施し、人権課題の解決に向けた取組みを行いました。			(えがおこども食堂)																																								
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>回数ほか</th> <th>参加人数・対象ほか (延べ人数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談業務</td> <td>年間</td> <td>123件</td> </tr> <tr> <td>人権啓発講演会、研修会</td> <td>年5回</td> <td>63人</td> </tr> <tr> <td>がくしゅうかい食堂(こども・地域)</td> <td>年4回</td> <td>228食</td> </tr> <tr> <td>人権学習会</td> <td>毎週木曜日</td> <td>小学生 20人 中学生1人</td> </tr> <tr> <td>サマスタ</td> <td>夏休み</td> <td>小学生 64人</td> </tr> <tr> <td>手話教室</td> <td>年18回</td> <td>136人</td> </tr> <tr> <td>部落解放文化祭</td> <td>11月</td> <td>491人</td> </tr> <tr> <td>小学生生活体験学習 (えがお子ども食堂)</td> <td>年1回</td> <td>64人</td> </tr> <tr> <td>ふれあい教室</td> <td>年1回</td> <td>23人</td> </tr> <tr> <td>ガクシューカイU-18</td> <td>年1回</td> <td>6人</td> </tr> </tbody> </table>			事業名	回数ほか	参加人数・対象ほか (延べ人数)	相談業務	年間	123件	人権啓発講演会、研修会	年5回	63人	がくしゅうかい食堂(こども・地域)	年4回	228食	人権学習会	毎週木曜日	小学生 20人 中学生1人	サマスタ	夏休み	小学生 64人	手話教室	年18回	136人	部落解放文化祭	11月	491人	小学生生活体験学習 (えがお子ども食堂)	年1回	64人	ふれあい教室	年1回	23人	ガクシューカイU-18	年1回	6人								
事業名	回数ほか	参加人数・対象ほか (延べ人数)																																									
相談業務	年間	123件																																									
人権啓発講演会、研修会	年5回	63人																																									
がくしゅうかい食堂(こども・地域)	年4回	228食																																									
人権学習会	毎週木曜日	小学生 20人 中学生1人																																									
サマスタ	夏休み	小学生 64人																																									
手話教室	年18回	136人																																									
部落解放文化祭	11月	491人																																									
小学生生活体験学習 (えがお子ども食堂)	年1回	64人																																									
ふれあい教室	年1回	23人																																									
ガクシューカイU-18	年1回	6人																																									
事業目的の 達成状況	担当課による評価				S 目的達成																																						
	【前年度の課題の概要】 ① オンラインを活用できる研修会の体制を整備し、研修の機会を提供していきます。																																										
【前年度課題についての対応及び成果】 ① タブレットを購入し、オンライン研修に対応できる環境を整備しました。 ② 令和3年度とうはく部落解放文化祭講演会講師のDVDを活用し、放課後児童クラブの職員研修や、町乳幼児教育研究会の会員研修として町内の保育教諭・保育士などを対象に研修を行いました。 ③ 人権学習会、がくしゅうかい食堂は、地域ボランティアの協力や継続支援もあり子どもの居場所や地域交流の場として充実してきています。また、生活体験学習として「えがお子ども食堂」を人権学習会児童が運営するなど広がりを見せつつあります。																																											
【担当課による評価の理由】 コロナ禍で各種事業の開催が困難な中、感染症対策を行い可能な限り事業を行うことができました。																																											
今後の 取り組み の 方向	・台風により屋上に設置してあるエアコンの室外機が破損したため、2階大会議室、第1学習室と1階調理室のエアコンが使用不可となったため、来年度は修繕が必要です。 ・近年新型コロナウイルス感染症予防のため集合研修の縮小、中止などから研修離れが進み参加者が減少しています。誰もが参加しやすい環境や体制づくり、研修の機会の提供を行います。																																										

令和 4 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	571	事業名	赤碕隣保館運営費		会計区分	一般会計																																								
担当課	人権・同和教育課			担当係	人権教育推進係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続																																						
予算区分	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	4	隣保館運営費																																					
まちづくりビジョン	①新しいひとの流れをつくりだす共生のまちづくり				④支え合いと共生のまちづくり																																									
	重点項目	情報発信と対話で築く、みんなが関わる協働のまちづくり																																												
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)																																						
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																																							
令和4年度	3,414	2,297	0	1,637	29	0	631	文化センター使用料 29千円																																						
令和4年度(明許)	0	0	0	0	0	0	0																																							
事業目的	地域福祉の向上、人権啓発のための住民交流の拠点、そして住民の身近な相談窓口としての役割を担い、人権課題の解決のための各種事業を総合的にを行います。																																													
事業の 主な 実施状況	1 赤碕隣保館運営事業費 2,297千円 (・報償費407千円 ・需用費 1,231千円 ・委託料 217千円 ・使用料及び賃借料ほか 442千円) 福祉の向上及び人権啓発のための住民交流の拠点として、地域住民の生活相談並びにあらゆる差別を解決するための研修会等各種啓発活動を実施しました。																																													
	(1) 審議会の開催状況 <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>回数</th> <th>委員数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>赤碕文化センター運営審議会</td> <td>年2回</td> <td>委員12人</td> </tr> </tbody> </table>			事業名	回数	委員数	赤碕文化センター運営審議会	年2回	委員12人							(2) 年間利用人数 延べ13,454人																														
事業名	回数	委員数																																												
赤碕文化センター運営審議会	年2回	委員12人																																												
(3) 各種事業の実施 啓発・広報活動事業、地域交流事業、地域福祉事業を実施し、人権課題の解決に向けた取組みを行いました。									〈地域交流事業 小川たんけん〉																																					
			<table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>回数ほか</th> <th>参加人数ほか (延べ人数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談業務</td> <td>年間</td> <td>180件</td> </tr> <tr> <td>人権啓発講演会、研修会</td> <td>6回</td> <td>233</td> </tr> <tr> <td>人権学習会 (小学生)</td> <td>毎週木曜日</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>人権学習会 (中学生)</td> <td>毎週水曜日</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>学習支援事業</td> <td>10日間</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>高校生友の会</td> <td>2回</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>部落解放文化祭</td> <td>10月</td> <td>623</td> </tr> <tr> <td>現地研修(フィールドワーク)・視察</td> <td>15回</td> <td>355</td> </tr> <tr> <td>地域交流事業</td> <td>20回</td> <td>334</td> </tr> <tr> <td>いきいきカルチャー</td> <td>毎週月・水・金</td> <td>401</td> </tr> <tr> <td>ストレッチ体操教室 (おしゃべりカフェ寄茶)</td> <td>毎週水曜日 (第2水曜日)</td> <td>525 (212)</td> </tr> </tbody> </table>		事業名	回数ほか	参加人数ほか (延べ人数)	相談業務	年間	180件	人権啓発講演会、研修会	6回	233	人権学習会 (小学生)	毎週木曜日	40	人権学習会 (中学生)	毎週水曜日	16	学習支援事業	10日間	45	高校生友の会	2回	4	部落解放文化祭	10月	623	現地研修(フィールドワーク)・視察	15回	355	地域交流事業	20回	334	いきいきカルチャー	毎週月・水・金	401	ストレッチ体操教室 (おしゃべりカフェ寄茶)	毎週水曜日 (第2水曜日)	525 (212)						
事業名	回数ほか	参加人数ほか (延べ人数)																																												
相談業務	年間	180件																																												
人権啓発講演会、研修会	6回	233																																												
人権学習会 (小学生)	毎週木曜日	40																																												
人権学習会 (中学生)	毎週水曜日	16																																												
学習支援事業	10日間	45																																												
高校生友の会	2回	4																																												
部落解放文化祭	10月	623																																												
現地研修(フィールドワーク)・視察	15回	355																																												
地域交流事業	20回	334																																												
いきいきカルチャー	毎週月・水・金	401																																												
ストレッチ体操教室 (おしゃべりカフェ寄茶)	毎週水曜日 (第2水曜日)	525 (212)																																												
担当課による評価					S 目的達成																																									
事業目的の 達成状況	【前年度の課題の概要】 ① オンラインを活用できる研修会の体制を整備し、研修の機会を提供していきます。																																													
	【前年度課題についての対応及び成果】 ① パソコンとモニターを購入し、オンライン研修ができる環境を整備しました。 ② コロナ禍の中工夫をしながら事業を開催し、特に研修会等の学びの場において利用人数が徐々に増えたと感じます。 ③ 教室活動など各種事業を行う中で、校区外からの来館者も増え、町民全体のコミュニティーセンター(みんなの居場所)になりつつあります。																																													
今後の 取り組みの 方向	【担当課による評価の理由】 コロナ禍で各種事業の開催が困難な中、感染症対策を行い可能な限り事業を行うことができました。																																													
	琴浦町人権施策基本方針に基づき、文化センターの役割を真摯に受け止め、地域住民のとのつながりや当事者を見据え事業の充実を図ります。																																													

令和 4 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	566	事業名	東伯児童館運営費			会計区分	一般会計																			
担当課	人権・同和教育課			担当係	人権教育推進係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続																		
予算区分	款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	3	児童館運営費																	
まちづくりビジョン	②子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				②子どもたちが安心して遊び、学べる環境づくり																					
	重点項目	ふるさとへの愛着を深める、地域に根差した体験と学びの展開																								
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)																		
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																			
令和4年度	2,175	2,053	0	0	77	0	1,976	事業参加費 77千円																		
令和4年度(明許)	0	0	0	0	0	0	0																			
事業目的	児童が心身ともに健やかに成長するために安心、安全に遊べる居場所づくりや遊びの提供をします。地域組織活動を支援し、保護者の交流の場の提供や地域でつながる環境づくりに努めます。親子のふれあい、地域住民とのかかわりを通して、子ども達の自尊感情を高め、豊かな人間形成を目指します。																									
事業の 主な 実施状況	1. 東伯児童館運営事業費 2,053千円(・需用費 1,086千円 ・役務費ほか 967千円) 児童が心身ともに健やかに成長するために、安心、安全に遊べる居場所づくりや遊びの提供を行い、親子のふれあいや、子どもの自尊感情の育成など豊かな人間形成に努めました。 また、文化センターの遊戯室の床面の修繕および園庭に滑り台を設置し、遊びの環境を整備しました。																									
	(1)年間利用人数等 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">年間利用人数</td> <td style="width: 20%;">1,429人</td> </tr> </table>									年間利用人数	1,429人															
	年間利用人数	1,429人																								
	(2)事業実績 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">事業名</th> <th style="width: 20%;">回数他</th> <th style="width: 40%;">参加人数・対象 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>幼児交流会</td> <td>休止</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>親子ひろば びーのびーの</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>児童館まつり</td> <td>1回</td> <td>170</td> </tr> <tr> <td>その他の児童館活動</td> <td>年間6日</td> <td>221</td> </tr> <tr> <td>保護者育成支援</td> <td>6回</td> <td>48</td> </tr> </tbody> </table>									事業名	回数他	参加人数・対象 (人)	幼児交流会	休止	—	親子ひろば びーのびーの			児童館まつり	1回	170	その他の児童館活動	年間6日	221	保護者育成支援	6回
事業名	回数他	参加人数・対象 (人)																								
幼児交流会	休止	—																								
親子ひろば びーのびーの																										
児童館まつり	1回	170																								
その他の児童館活動	年間6日	221																								
保護者育成支援	6回	48																								
【児童館活動の様子】 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  〈スパイラルキューブをつくろう〉 </div> <div style="text-align: center;">  〈もこもこクリスマスかざりをつくろう〉 </div> </div>																										
(3)施設的环境整備 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">遊戯室床面の修繕 (需用費・修繕料)</td> <td style="width: 50%;">513 千円</td> </tr> <tr> <td>滑り台設置 (備品購入費・施設備品)</td> <td>786 千円</td> </tr> </table>									遊戯室床面の修繕 (需用費・修繕料)	513 千円	滑り台設置 (備品購入費・施設備品)	786 千円														
遊戯室床面の修繕 (需用費・修繕料)	513 千円																									
滑り台設置 (備品購入費・施設備品)	786 千円																									
	担当課による評価				S 目的達成																					
事業目的の 達成状況	【前年度の課題の概要】 ① コロナ禍の中での事業実施にむけて、コロナ対策(人数制限、三密回避等)のアイデアを出しあい、地域と協力して児童館まつりなどを実施し、子どもたちの居場所づくりに努めます。																									
	【前年度課題についての対応及び成果】 ① 遊戯室の床面修繕及び園庭にすべり台を設置し、子どもたちが楽しく、安全に遊べる環境を整備しました。 ② 児童館活動では、密を回避するため1日4回に分けて事業を実施するなどの工夫を行い、コロナ禍であっても子どもたちに体験の場と居場所の提供に努めました。																									
今後の 取り組み の 方向	【担当課による評価の理由】 コロナ禍で各種事業の開催が困難な中、感染症対策を行い可能な限り事業を行うことができました。																									
	人数制限をして児童館活動を実施したため、他地区の子どもとの交流が十分にできませんでした。新型コロナウイルス感染症の5類移行にともない、開催方法についてコロナ以前の状態に戻し、子ども同士の出会いや共に体験できる活動を行います。 引き続き必要な感染症対策は実施し、誰もが安心して過ごせる施設運営を行っていきます。																									

令和 4 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	567	事業名	赤碕児童館運営		会計区分	一般会計																									
担当課	人権・同和教育課		担当係	人権教育推進係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続																								
予算区分	款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	3	児童館運営費																						
まちづくりビジョン	②子ども大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				②子どもたちが安心して遊び、学べる環境づくり																										
	重点項目	ふるさとへの愛着を深める、地域に根差した体験と学びの展開																													
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)																							
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																								
令和4年度	1,012	687	0	0	1	0	686	事業参加費 1千円																							
令和4年度(明許)	0	0	0	0	0	0	0																								
事業目的	児童が心身ともに健やかに成長するために安心、安全に遊べる居場所づくりや遊びの提供をします。地域組織活動を支援し、保護者の交流の場の提供や地域でつながる環境づくりに努めます。親子のふれあい、地域住民とのかかわりを通して、子ども達の自尊感情を高め、豊かな人間形成を目指します。																														
事業の 主な 実施状況	1 赤碕児童館運営事業費 687千円 (・需用費 521千円 ・役務費ほか 166千円) 児童が心身ともに健やかに成長するために、安心、安全に遊べる居場所づくりや遊びの提供を行い、親子のふれあいや、子どもの自尊感情の育成など豊かな人間形成に努めました。 また、地域組織活動を支援し、保護者の交流の場の提供や地域でつながる環境づくりを行いました。																														
	(1)年間利用人数等 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>年間利用人数</td> <td>6,299人</td> </tr> </table> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  <p>〈もちつき〉</p> </div> (2)事業実績 <table border="1" style="margin-left: 20px; width: 100%;"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>回数</th> <th>他</th> <th>参加人数・対象(延べ人数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>あかさきじどうかんまつり</td> <td>中止</td> <td></td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>その他児童館活動</td> <td>月1回</td> <td></td> <td>239</td> </tr> <tr> <td>子どもみこしまつり</td> <td>10月</td> <td></td> <td>85</td> </tr> <tr> <td>保護者育成支援</td> <td>年間3回</td> <td></td> <td>会員数 50</td> </tr> </tbody> </table> <p>○その他 放課後児童クラブが施設を利用</p> <p>【児童館活動の様子】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>〈子どもみこしまつり〉</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>〈稲刈り〉</p> </div> </div>										年間利用人数	6,299人	事業名	回数	他	参加人数・対象(延べ人数)	あかさきじどうかんまつり	中止		—	その他児童館活動	月1回		239	子どもみこしまつり	10月		85	保護者育成支援	年間3回	
年間利用人数	6,299人																														
事業名	回数	他	参加人数・対象(延べ人数)																												
あかさきじどうかんまつり	中止		—																												
その他児童館活動	月1回		239																												
子どもみこしまつり	10月		85																												
保護者育成支援	年間3回		会員数 50																												
	担当課による評価					S 目的達成																									
事業目的の 達成状況	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>① 児童館の感染対策ガイドラインをもとに事業の開催方法を検討し、様々な体験の機会を提供します。</p> <p>② 相談業務は、内容の複雑化、多様化にともない文化センター職員だけでは対応が難しいケースがあります。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>① 児童館の感染症ガイドラインをもとに地域の方にも協力いただき開催方法を検討し、コロナ禍であっても、事業をできるだけ中止せず、子どもの居場所となるよう努めました。</p> <p>② 子どもたちや保護者の相談・困りごとの窓口となり、必要に応じて関係機関につなげました。</p> <p>【担当課による評価の理由】</p> <p>コロナ禍で各種事業の開催が困難な中、感染症対策を行い可能な限り事業を行うことができました。</p>																														
今後の 取り組み の 方向	新型コロナウイルス感染症の5類移行にともない、実施を中止していた「じどうかんまつり」や保護者会活動を再開し、人と人との出会いや共に体験できる活動を行います。 引き続き必要な感染症対策は実施し、誰もが安心して過ごせる施設運営を行っていきます。																														

令和 4 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	296	事業名	人権・同和教育推進事業(事務費)		会計区分	一般会計									
担当課	人権・同和教育課		担当係	人権教育推進係	事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続									
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	8	人権・同和教育費						
まちづくりビジョン	①新しいひとの流れをつくりだす共生のまちづくり				④支え合いと共生のまちづくり										
	重点項目	情報発信と対話で築く、みんなが関わる協働のまちづくり													
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)							
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源								
令和4年度	1,871	1,220	398	0	0	0	822								
令和4年度(明許)	0	0	0	0	0	0	0								
事業目的	人権尊重の社会づくりを施策を積極的に推進するため、町と地区の協議会活動を支援します。														
事業の 主な 実施状況	1 各地区人権・同和教育推進研究協議会及び町人権・同和教育推進協議会へ事業委託し、部会活動や広報活動、TCC番組による啓発活動を開催しました。 <table style="margin-left: 20px; width: 80%;"> <tr> <td>・ 地区人権・同和教育推進研究協議会 (八橋、浦安、下郷、上郷、古布庄)</td> <td style="text-align: right;">71千円</td> </tr> <tr> <td>・ 琴浦町人権・同和教育推進協議会</td> <td style="text-align: right;">651千円</td> </tr> <tr> <td>・ 人権・同和教育部落懇談会教材製作委託費</td> <td style="text-align: right;">36千円</td> </tr> </table>									・ 地区人権・同和教育推進研究協議会 (八橋、浦安、下郷、上郷、古布庄)	71千円	・ 琴浦町人権・同和教育推進協議会	651千円	・ 人権・同和教育部落懇談会教材製作委託費	36千円
	・ 地区人権・同和教育推進研究協議会 (八橋、浦安、下郷、上郷、古布庄)	71千円													
・ 琴浦町人権・同和教育推進協議会	651千円														
・ 人権・同和教育部落懇談会教材製作委託費	36千円														
 <p>〈人権・同和教育推進協議会総会〉</p>															
2 対象別人権・同和教育研修支援事業 町内の小学校等で開催された人権・同和教育研修会に係る講師謝金の助成を行いました。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 4団体に助成 38千円 															
3 県人権文化センター負担金ほか 234千円															
4 その他事務費 消耗品、公用車関係経費ほか 190千円															
事業目的 の 達成状況	担当課による評価				B 進展が大きくない										
	【前年度の課題の概要】 ① コロナ禍における啓発活動の方法を検討する必要があります。														
	【前年度課題についての対応及び成果】 ① コロナ禍の中でも教育啓発活動を実施するため、昨年度に引き続きワークシートとアンケートを全戸配布し、「全国中学生人権作文コンテスト入賞作品朗読集から考えよう！」をテーマにTCC番組で放映しました。 〈参加者数〉 1,732人 (1,024世帯)														
今後の 取り組み の 方向	【担当課による評価の理由】 コロナ禍の3年間は、TCCを活用した教材放送による各家庭単位での研修の実施について取り組みを行いました。年々参加数が減少し関心の低下がみられました。														
	新型コロナウイルス感染症の5類移行にともない、人権・同和教育部落懇談会の開催方法についてコロナ前の形で開催できるよう、各地区と協議を行いながら進めていきます。														

令和 4 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	302	事業名	人権尊重の社会づくりの推進			会計区分	一般会計		
担当課	人権・同和教育課		担当係	人権教育推進係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	8	人権・同和教育費
まちづくりビジョン	①新しいひとの流れをつくりだす共生のまちづくり				④支え合いと共生のまちづくり				
	重点項目	情報発信と対話で築く、みんなが関わる協働のまちづくり							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和4年度	122	14	0	0	0	0	14		
令和4年度(明許)	0	0	0	0	0	0	0		
事業目的	安心して暮らせるまちづくりのために「人権尊重の社会づくり条例」に基づいた施策を推進します。								
事業の 主な 実施状況	1 町人権尊重のまちづくり審議会 (3月開催) ・報償費 14 千円 人権施策基本方針をもとに、各人権分野の具体的な取り組みを示す「町人権施策実施計画」の策定作業を行いました。計画案について町人権尊重のまちづくり審議会で協議を行いました。								
事業目的 の 達成状況	担当課による評価				C 進展なし				
	<p>【前年度の課題の概要】</p> ① 様々な人権課題の解決に向けて、各課が連携して計画の策定を行うことが必要です。 ② 就学前教育について、町内の園の実態調査を行います。								
<p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> ① 「町人権施策実施計画」の策定に向け、庁内チーム会議を3回開催し各課の人権施策について協議を行いました。 ② 第3回住民意識調査の結果をもとに就学前教育について、町内の園を対象に実態調査を行いました。調査結果に関連して保育教諭・保育士などを対象に動画視聴による研修を行いました。									
<p>【担当課による評価の理由】</p> 計画案について、町人権尊重のまちづくり審議会で審議を行いました。パブリックコメント等で出された意見が反映できていないため、再度内容検討が必要となり令和4年度中に計画を策定できませんでした。									
今後の 取り組み の 方向	令和5年度に引き続き策定作業を行い、早期の計画策定を行います。								

令和 4 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	575	事業名	人権・同和教育推進事業(法務省委託)	会計区分	一般会計		
担当課	人権・同和教育課		担当係	人権教育推進係	事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	
予算区分	款	9 教育費	項	4 社会教育費	目	8 人権・同和教育費	
まちづくりビジョン	①新しいひとの流れをつくりだす共生のまちづくり			④支え合いと共生のまちづくり			
	重点項目	情報発信と対話で築く、みんなが関わる協働のまちづくり					
年度	最終予算額(千円)	決算額(千円)	事業費財源内訳(千円)				備考(その他収入の内訳)
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源
令和4年度	319	304	0	236	0	0	68
令和4年度(明許)	0	0	0	0	0	0	0

事業目的 人権に対する町民一人ひとりの正しい理解と認識を深め「人権尊重のまち」を築くため、啓発活動を推進します。

事業の主な実施状況

人権・同和教育推進事業費(法務省委託) 304千円

1 人権フェスティバルを開催しました。

(1) 「誰もが自分らしく、生きられる社会に向けて女も男も幸せになる法則 ～家庭の中の“女と男”、仕事の中の“女と男”～」と題して講演会を開催しました。
講師 谷口真由美さん(法学者 大阪芸術大学客員教授)

- ・手話通訳、要約筆記、託児の対応を行い誰でも参加しやすい体制を整えました。
- ・参加人数 当日参加 57人 アーカイブ配信 78人 計 135人

【講演会講師及びチラシ】

担当課による評価 S 目的達成

事業目的の達成状況

【前年度の課題の概要】

① 第3回住民意識調査結果を踏まえ、住民にとってより多くの関心がある項目について学ぶ機会を提供する必要があると考えます。

【前年度課題についての対応及び成果】

① 第3回住民意識調査の結果を踏まえ、「男女共同参画に関する人権」をテーマに選定し啓発事業を行いました。

② 新型コロナウイルス感染拡大のため、当初7月に開催を予定していましたが、9月に延期し開催しました。アーカイブ配信も取り入れたこともあり、コロナ禍でも多くの参加がありました。

【担当課による評価の理由】

コロナ禍で事業の開催が困難な中、当日スタッフに欠員が出ても開催できるようリハーサルを重ねる事業を行うことができました。

今後の取り組みの方向

事業の開催方法や規模、名称について今後検討していく必要があります。

令和5年度 第1回学校公開アンケート集約

学校名

琴浦町立中学校

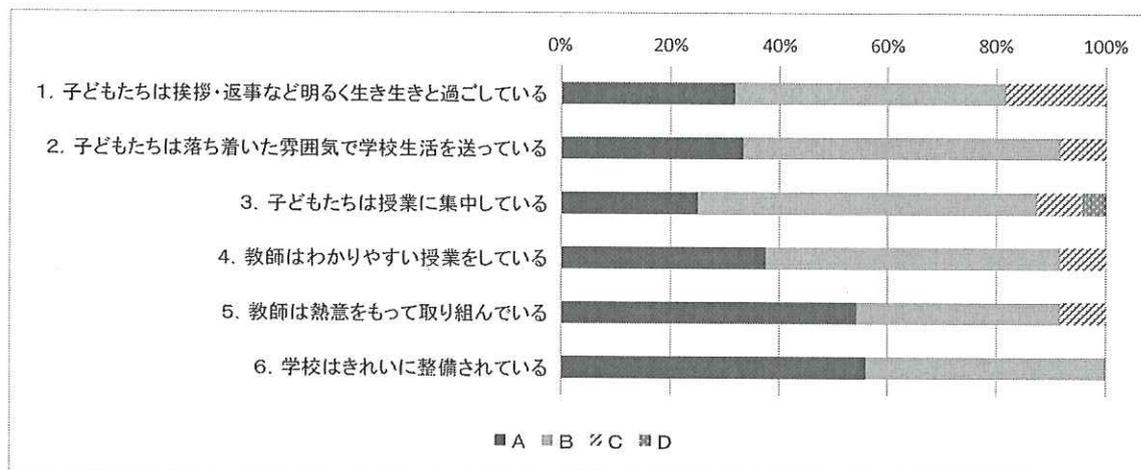
◆下表の網掛けセルにアンケート集計の「人数」を入力して下さるようお願いします。

1 公開においていただいた人数

	保護者	地域・他	計
1日目	45	14	59

2 アンケートの項目に関して (※2日間の総計を入力してください)

	A	B	C	D	回答数
1. 子どもたちは挨拶・返事など明るく生き生きと過ごしている	7	11	4	0	22
2. 子どもたちは落ち着いた雰囲気で学校生活を送っている	8	14	2	0	24
3. 子どもたちは授業に集中している	6	15	2	1	24
4. 教師はわかりやすい授業をしている	9	13	2	0	24
5. 教師は熱意をもって取り組んでいる	13	9	2	0	24
6. 学校はきれいに整備されている	14	11	0	0	25



A…よくあてはまる B…ややあてはまる C…あまりあてはまらない D…まったくあてはまらない

令和5年度 第1回学校公開アンケート集約

学校名 琴浦町立小学校

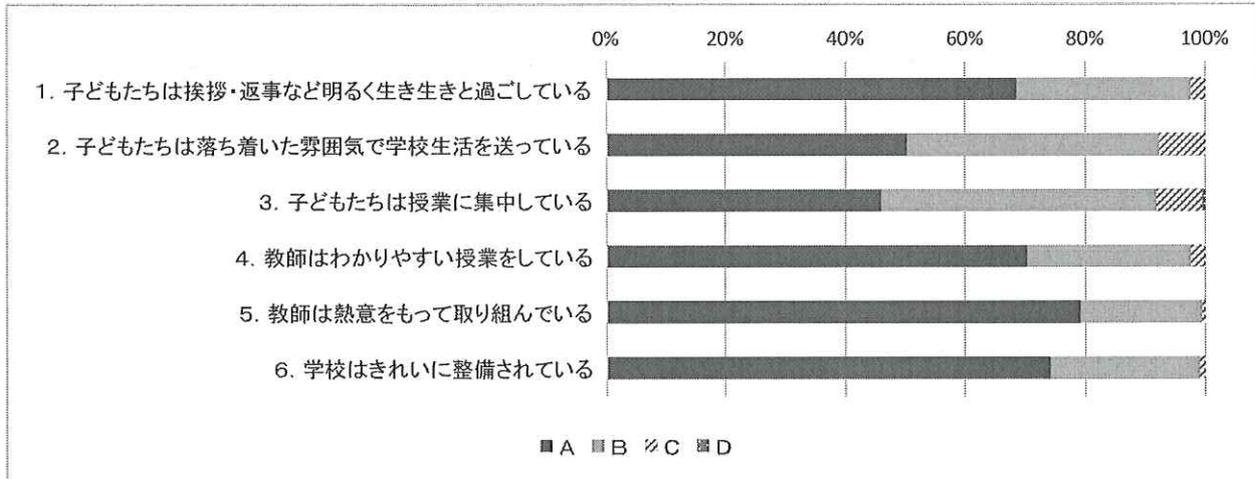
◆下表の網掛けセルにアンケート集計の「人数」を入力して下さるようお願いします。

1 公開においていただいた人数

	保護者	地域・他	計
1日目	334	75	409

2 アンケートの項目に関して (※2日間の総計を入力してください)

	A	B	C	D	回答数
1. 子どもたちは挨拶・返事など明るく生き生きと過ごしている	142	60	5	0	207
2. 子どもたちは落ち着いた雰囲気で学校生活を送っている	104	87	16	0	207
3. 子どもたちは授業に集中している	95	95	16	1	207
4. 教師はわかりやすい授業をしている	145	56	5	0	206
5. 教師は熱意をもって取り組んでいる	164	42	1	0	207
6. 学校はきれいに整備されている	153	51	2	0	206



A…よくあてはまる B…ややあてはまる C…あまりあてはまらない D…まったくあてはまらない